

令和6年度(2024年度)八王子市立小学校及び義務教育学校(前期課程)使用教科用図書調査研究報告書(資料作成委員会)

～目次～

国語	1ページ	音楽	8ページ
書写	2ページ	図画工作	9ページ
社会	3ページ	家庭	10ページ
地図	4ページ	保健	11ページ
算数	5ページ	英語	12ページ
理科	6ページ	道徳	14ページ
生活	7ページ		

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 国語 1/1枚目

調査の観点	発行者名 東京書籍	教育出版	光村図書
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元ごとに身に付けたい力や学習の流れについて明確に示している。 (2)配慮している。 ・発達段階に即して身近な出来事や物事を例にした児童が興味をもてる魅力的な作品や題材を取り上げている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・巻頭に、1年間で身に付けたい力を領域別に示している。 ・身に付けたい力が単元ごと、領域別に明確に示されている。 (2)配慮している。 ・発達段階に応じた興味のもてる教材である。</p>	<p>(1)配慮している。 ・巻頭に1年間で身に付けたい力を領域別に示している。 ・各単元の狙いを明確に示している。 (2)配慮している。 ・発達段階に応じて児童が興味を持ちやすい教材が多い。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元ごとの「学習の流れ」に学習の進め方が示され、単元の前後に「言葉の力」があり身に付けたい力が明確に説明されているので、主体的な学びにつながる。 ・話し合いの例が図示されており対話的な学びの実現に配慮している。 ・学習や自己評価のポイントが示されており学びを深める気付きにつながる。 (2)配慮している。 ・各領域共バランスのとれた分量となっている。 ・原稿用紙や観察カード等の使い方に関する例示も充実しており発達段階に応じた「書く」活動への配慮が見られる。</p>	<p>(1)配慮している。 ・「見通しをもとう」に学習の進め方が具体的に示され、主体的に学習を進める配慮がなされている。 ・吹き出しによる対話や対話活動のもととなる学習課題が設定され対話や共有のための過程が分かりやすいので、対話的な学びの機会を作りやすい。 ・単元末に「つたえあおう」「ここが大事」の項目があり、学びを深めるための視点につながる。 (2)配慮している。 ・各領域共バランスのとれた分量となっている。 ・「話す・聞く」「書く」という、身に付けた力を生かす活動が多く、言葉で説明する教材も下学年から充実している。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元末の「見通しをもとう」で「問い」「目標」の設定の仕方や学習の進め方を具体的に示しており、主体的に学習を積み重ねられる構成になっている。 ・話し合いの例示が吹き出しで示されており、対話的な学びの実現に配慮している。 ・「たいせつ」「いかそう」が学習や自己評価のポイントを示しており、学びを深める視点につながる。 (2)配慮している。 ・各領域共バランスのとれた分量になっている。 ・既習事項を確認する項目も配置されている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、全ての児童の色覚特性に適應するようデザインされている。特別支援教育に関する校閲を行っている。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・色や線、枠で各項目が分けられており、分かりやすい。 ・写真や挿絵の大きさや配置のバランスがよく、工夫が見られる。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。オリジナルフォントを使用し、見やすさ、読みやすさに配慮している。特別支援教育に関する監修を行っている。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・文字の配色や色彩のコントラストが明瞭である。 ・パステルや水彩のような色合いの挿絵が多く、優しい印象を与える。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育、学校のユニバーサルデザイン、人権教育、外国人児童生徒教育等について専門家による校閲を行っている。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・レイアウトがはっきり区切られており、分かりやすい。 ・全体的に落ち着いた色調で印刷されている。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮されている。 ・目次に単元ごとに領域の表示がある。 ・巻頭に一年間の流れ、国語学習の進め方、国語ノートの作り方、デジタルノートの作り方が明確に示されている。 (2)配慮されている。 ・「言葉の力」を確認することで学習の振り返りができる構成になっている。 ・二次元コードで練習問題が表示されたり既習事項の確認ができるので自分の課題に応じた学習に取り組める。 (3)特に配慮はみられない。</p>	<p>(1)配慮されている。 ・「たしかめよう」「くわしくよう」で学習の進め方が分かりやすく示されている。 ・各単元末の「言葉」で押さえるべき語句が示されており、指導の助けとなる。 (2)配慮されている。 ・学習の進め方が児童にとっても分かりやすく示され振り返りも具体的ため、自主学習がしやすい。 (3特に配慮はみられない。</p>	<p>(1)配慮されている。 ・学習の進め方が明確に示されており、下学年とのつながりについての記載もあるので、児童の実態に応じた指導が容易である。 (2)配慮されている。 ・「もったのしもう」「いかそう」「ふりかえろう」により授業での学びを家庭学習で発展させることが可能となる。 ・説明文では主教材の前に練習用教材があり、児童が学習の見通しをもって学びを深めることが可能である。 ・漢字の書き順が一行にまとめられ取り組みやすい。 (3)特に配慮はみられない。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しないでよい。</p>	<p>・二次元コードにより補助資料等の活用ができる。 ・挿絵に車いす使用の児童、眼鏡使用の児童、外国籍の児童がおり、多様性に配慮している。 ・単元の間にある「じょうほうのとびら」や「言葉の相談室」、巻末の「学習で使う言葉」等が充実している。 ・裏表紙に保護者へのメッセージがある。 ・全学年上下2冊である。</p>	<p>・二次元コードにより補助資料等の活用ができる。 ・挿絵に車いす使用の児童、眼鏡使用の児童、外国籍の児童がおり、多様性に配慮している。 ・巻末の付録が充実しており、発展学習や補充学習に活用できる。 ・高学年は1冊、低・中学年は上下2冊になっている。</p>	<p>・二次元コードにより補助資料等の活用ができる。 ・挿絵には眼鏡使用の児童、車いす使用の児童がおり、多様性に配慮している。 ・巻末の付録にある「言葉のたから箱」には今後の学習に活用したい内容が集約されている。 ・高学年は1冊、低・中学年は上下2冊になっている。</p>

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 書写 1/1枚目

調査の観点	発行者名 東京書籍	教育出版	光村図書
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・各学年のねらいに即した単元の内容・配列となっている。 ・書写の学習を通して、日本の伝統・文化との関わりや日々の生活に役立つ力を付けさせようとする教材が扱われている。 (2)配慮している。 ・学習を進める上で大切なポイントが、学年に合わせて視覚的に分かりやすく示されている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・各学年のねらいに即した単元の内容・配列となっている。 ・書写の学習を通して、日本の伝統・文化との関わりや日々の生活に役立つ力を付けさせようとする教材が扱われている。 (2)配慮している。 ・水書や毛筆の学習が始まる1年生と3年生の表紙で、動画による効果的な導入が工夫されている。 ・各学年の学習活動に合わせて、体系的な教材が扱われている。 6年生で、中学校での学習を意識できるようになっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・各学年のねらいに即した単元の内容・配列となっている。 ・書写の学習を通して、日本の伝統・文化との関わりや日々の生活に役立つ力を付けさせようとする教材が扱われている。 (2)配慮している。 ・1年生と3年生で、それぞれ硬筆と毛筆のスタートブックを掲載し、入門期の大切なポイントを分かりやすく示している。 ・6年生で、書写ブックをつけて、児童が6年間の学びを振り返ることによって、学習したことを日常生活に広げられるようにしている。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・「生活に広げよう」や「学びを生かそう」などを通して、学習したことが他教科や日常生活に生かせるようになっている。 (2)配慮している。 ・基本的に見開きで学習が完結しており、児童が無理なく取り組むことができる分量になっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・学習したことを他の文字でも生かせるように多くの事例が載っている。 ・毛筆で書くときに気を付けてほしいことが色分けされていて分かりやすくなっている。 (2)配慮している。 ・低学年では、指でなぞって練習できるようになっている。3年生以上の毛筆では、書くときのポイントを適切に入れ、取り組みやすくなっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・学習の進め方に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という三つのキーワードがあり、それぞれ気を付けてほしいことが書いてあるので、主体的に考えやすいようになっている。 (2)配慮している。 ・文字が大きく、はっきりしており、児童が時間をかけて取り組んでも無理のない分量になっている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・穂先の向きや力加減が丁寧に説明されている。 ・大切なポイントが拡大されていて分かりやすい。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・1ページの情報量が多すぎず、見やすくまとめられている。 ・二次元コードが多くある。 ・イラストが少なく、記号で統一されていて分かりやすい。 ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが使われていて見やすい配慮がされている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・教科書の使い方や学習の進め方が丁寧に説明されている。 ・とめ、はね、はらいなど注意すべきところを拡大している。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・全学年を通じたキャラクターがいて親しみやすい。 ・二次元コードが多くある。 ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが使われていて見やすい配慮がされている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・筆順や、字を書く時のポイントを分かりやすく表現している。 ・大切なところが、イラストとともに掲載されているのでポイントが見つけやすい。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・1ページの情報量が多すぎず、見やすくまとめられている。 ・二次元コードが多くある。また、右利き用と左利き用の二次元コードが分かりやすい。 ・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが使われていて見やすい配慮がされている。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくするための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・「書写のかぎ」に、学習のポイントが端的に示されている。 (2)配慮している。 ・気を付けるポイントが「書写のかぎ」で分かりやすく示されており、家庭学習がしやすい。 (3)特に配慮は見られない。</p>	<p>(1)配慮している。 ・巻頭に、目次や学習内容について分かりやすく示されている。 (2)配慮している。 ・毛筆で「考えよう」「ここが大切」「生かそう」「ふり返ろう」の流れで、家庭でも学習しやすい。 (3)特に配慮は見られない。</p>	<p>(1)配慮している。 ・巻頭に、目次や学習の進め方について分かりやすく示されている。 (2)配慮している。 ・学習の流れが一目で分かり、家庭学習を進めやすい。 (3)特に配慮は見られない。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>		<p>・1単位時間のめあてが、分かりやすく示されている。</p>	

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 社会 1/1枚目

調査の観点	発行者名 東京書籍	教育出版	日本文教出版
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) ・単元ごとに身に付けさせたい力を示し、構造化して整理している。 ・単元ごとの学習問題と「つかむ」「調べる」「まとめる」の問題解決的な学習過程を明示し、それぞれの過程に応じた留意点や活動例を例示している。 ・社会的事象の見方・考え方（視点や方法）と問いの関連を示している。 (2) ・学年の発達段階を踏まえ、学習過程ごとに留意点や活動例やまとめの表現方法を例示し、学習の見通しがもてるようにしている。 ・学年の発達段階に応じた、写真・統計・年表などの資料が豊富に掲載されている。 ・学年に応じた記事を用いて、社会的事象への関心を高める工夫がある。 ・親しみやすいキャラクター（ドラえもん）を使用している。</p>	<p>(1) ・単元ごとに身に付けさせたい力を明示している。 ・単元の学習問題、毎時の問い、「つかむ」「しらべる」「まとめる」の問題解決的な学習過程を明示している。 ・重要語句は「キーワード」として明示し、児童がそれらの語句を使って学習のまとめができるようにしている。 ・生活科との関連が示されている。 (2) ・社会に生きる多様な人々の姿を提示し、児童が社会とのつながりを捉えられるような工夫がなされている。 ・学年の発達段階に応じた「インデックス」や学習計画の例示、振り返りの視点の提示など、見通しをもって追究できる工夫がなされている。 ・写真資料等が豊富である。サイズが大きく、見やすくなっている。</p>	<p>(1) ・単元ごとに身に付けさせたい力を明示している。 ・「学習問題を発見する」「追究・解決する」「よりより未来をつくる」ページで構成されており、柔軟に問題解決的な学習が展開できるような構成となっている。 ・重要な語句について「キーワード」として解説がある。 (2) ・本文の役割として3点を位置付け、内容が読み取りやすい文章構成となっている。 ・「学び方・調べ方コーナー」として、学年に応じたいいねいな説明がある。 ・見方・考え方をどのように働かせるかについてアドバイスがある。 ・多様な視点をもつことができるよう、様々な立場の人の意見に触れることができるようにしている。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1) ・問題解決的な単元構成となっている。 ・児童の多様な意見から学習問題を設定したり、学習計画を立て、協力して問題解決する方法が提示されていたりと主体的・対話的な学びを意識している。 ・見方・考え方を働かせる問いを設定しており、深い学びにつながるようになっている。 ・学習したことを生かす「選択・判断」する学習場面が設定されている。 ・「まなびのポイント」を示し、学習の進め方、対話的な活動について説明している。 (2) ・資料の分量は適切であり、文章とのバランスも取れている。</p>	<p>(1) ・問題解決的な学習の展開の中で、場面ごとに「問い」が設定されており、見方・考え方が働かせて学習できるようになっている。 ・1時間の学習活動の流れが示されており、見通しをもって主体的に学習できるように配慮されている。振り返りの指導も意識されている。 ・学習したことを生かす「つなげる」場面が設定されている。 (2) ・基本、1時間の学習が見開きの紙面で構成されている。 ・資料と文章のバランスが取れており、学年に合った分量となっている。</p>	<p>(1) ・単元の学習問題を設定し、それを追究する各時間の「問い」が明記されている。 ・協働的な学びを「深め合い活動」として設定しており、対話を促し深い学びが実現できるように配慮されている。 ・「見方・考え方のコーナー」が設定されており、深い学びが実現できるように配慮されている。 ・学習の振り返りが充実している。 (2) ・学年に応じた児童のノートやワークシートの記載方法を例示している。 ・基本、1時間の学習が見開きの紙面で構成されている。 ・資料と文章のバランスが取れており、学年にあった分量となっている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1) ・本文は可読性の高い独自の教科書体、本文以外はUDフォントを使用している。文字の大きさも適切である。 ・当該学年以上の漢字にルビがあり、安心して読むことができる。 ・重要語句は太字となっている。 (2) ・図表等は、カラーUDを採用している。図表等のサイズが適切で、視認性がよい。 ・図表等の資料はバランスのよい配置となっている。</p>	<p>(1) ・本文はUDフォントを使用している。文字のサイズも適切である。 ・当該学年以上の漢字にルビがある。 ・重要語句は太字になっている。 ・電子黒板やタブレット表示でも視認性の高い紙面となっており、デジタルの活用に配慮されている。 (2) ・図表等、カラーUDを採用しており、視認性が高い。 ・全体的に落ち着いた色でデザインしている。</p>	<p>(1) ・本文にはUDフォントを使用している。文字のサイズも適切である。 ・当該学年以上の漢字にはルビがある。 ・重要語句にはゴシック体が使用され、分かりやすい。 (2) ・図表等は、カラーUDを採用している。図表等のサイズも適切で視認性が高い。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくするための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) ・問題解決的な学習過程が明示され、毎時間のめあても明示されている。各時間も学習の流れが明示されており、教員が授業づくりのイメージをもつことができるようになっている。 (2) ・二次元コードから、動画、補助資料、ワークシートなど4種類のデジタルコンテンツを使用することができ、家庭学習に活用できるようになっている。 (3) ・事例地に偏りはない。 ・取り上げられた都道府県を地図で示している。 ・事例地やコラムに東京都の事例が取り上げられている。 (主事例2、その他5) ※5年2事例</p>	<p>(1) ・問題解決的な学習過程を明示し、各時間の「問い」も明記されている。 ・生活科とのつながりや、他教科との関連が示されている。 (2) ・二次元コードから、動画、補助資料、クイズなどの4種類のデジタルコンテンツを使用することができ、家庭学習に活用できるようになっている。 (3) ・事例地に偏りはない。 ・事例地やコラムに東京都の事例が取り上げられている。 (主事例5、その他19) ※5年3事例</p>	<p>(1) ・問題解決的な学習過程を明示し、各時間のめあてが示されている。教科書の活用方法について説明がある。 ・「学びを生かそう」の頁があり、現代的な諸課題に関する資料が豊富である。表現活動の提案などが示されている。様々な授業スタイルに対応できるようにしている。 ・各学年の学習の振り返りや次学年の学習の見通しなどが示されている。 (2) ・二次元コードで動画や関連資料、シミュレーションなどの8種類のデジタルコンテンツを活用することができ、家庭学習に活用することができる。 (3) ・事例地に偏りはない。 ・事例地やコラムに東京都の事例が取り上げられている。 (主事例5、その他5) ※5年2事例6年1事例</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>5・6年生教科書が分冊となっている。</p>		<p>SDG'sとの関連を強調している。</p>

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 地図 1/1 枚目

調査の観点 / 発行者名	東京書籍	帝国書院
1 内容 (1) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2) 児童の発達段階に対して配慮しているか。	(1) ・配慮されている。 (2) ・配慮されている。 ・特に初めて地図帳を手にする3年生のためのはじめの解説のページが丁寧で充実している。	(1) ・配慮されている。 (2) ・配慮されている。 ・特に初めて地図帳を手にする3年生のためのはじめの解説のページがとても丁寧で充実している。
2 構成上の工夫 (1) 重点調査項目 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。	(1) ・配慮されている。 ・「ホップ/ステップ/マップでジャンプ」のコーナーで70の問いと作業で学習が進められるようになっている。 (2) ・配慮されている。 ・児童の負担にならない適切な情報量となるよう配慮されている。	(1) ・配慮されている。 ・「地図マスターへの道」が100問掲載されていて、4年間の取り組みが記録できるようにもなっている。 ・キャラクターが吹き出しにより問いかけたり、確認したりしている。 (2) 配慮している。 ・6年生の歴史学習で活用できるよう、一部の地方・地域のページに、歴史的地名・事項や資料が掲載されている。
3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1) 児童にとって読みやすい表現であるか。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。	(1) ・読みやすい表現である。 ・地名はすべてに、文章などは3年生配当以上の漢字にふりがながつけられている。 ・フォントは独自開発したUDフォントを使用している。 (2) ・見やすく、分かりやすい。 ・カラーUDを採用している。 ・反射がきつすぎない用紙で、目が疲れにくい。 ・レイアウトに統一性がある。	(1) ・読みやすい表現である。 ・UDを全編にわたって採用している。レイアウトの統一、フォントの大きさ、文章の改行位置等の配慮がなされている。 ・漢字にはすべてふりがながつけられている。 (2) ・見やすく、分かりやすい。 ・5色印刷で地図の色が明るく、地図上の文字も読みやすい。 ・光の反射を抑えた用紙を使用している。
4 使用上の便宜 (1) 教員にとって、使いやすくするための配慮がされているか。 (2) 児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3) 地域性に対して配慮しているか。	(1) ・歴史の学習や他教科での指導にも生かせるようになっている。 (2) 配慮している。 ・他教科の学習に役立つ人物イラストや、記念館などが豊富に掲載されている。 (3) ・配慮されている。 ・首都東京の地図が充実している。	(1) ・理科、家庭科、外国語科でも活用できるように工夫されている。 (2) 配慮している。 ・「地図マスターへの道」で、地図を読み取る技能をスモールステップで身に付けるようにしている。 ・SDGsに関連する特設ページが設けられている。→本編の方にもアイコンで紹介されている。 (3) 配慮している。 ・「東京都とそのまわり」のページに、「伊豆諸島から小笠原諸島まで」が1つの地図として表されている（図が分断されていない）。 ・首都東京の地図が充実している。（4年生の都内巡りの際に有効。）
5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。	・二次元コードから補助資料や外部リンクを使用できる。	・二次元コードから補助資料等や外部リンクを使用できる。

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 算数 1/1枚目	発行者名	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館	日本文教出版
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に 対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮 しているか。</p>	<p>(1)配慮している ・「もくじ」では、単元に関連する前の学習と後の学習について単元名が記されており、系統性が見えやすい。巻頭では、1時間の授業モデルやノートの書き方を示している。単元の導入時は、児童の生活場面に合ったものとなっている。 ・D領域「データの活用」でPPDACサイクルの問題が5年生から出題されている。 ・「単元あたりの大きさ」の学習後すぐに「速さ」に行くので、学びの連続性が保ちやすい。 ・第1学年では、イラストから問題場面を把握しやすいように、始めはイラストのみ、徐々にイラストと文章というように構成されている。図が統一されている。立式場面の多くは、テープ図、線分図、数直線図など、繰り返し学習で活用することで児童が活用できるように構成されている。また、児童の理解が難しいと思われる場面では、面積図などがかかかれている。 ・プログラミング教育は4・5・6年生で扱っている。 ・算数の目、見方・考え方が示されている。 (2)配慮している 1年生入門期(最初の2単元)が、ノートの機能を併せもったスタイルになっている。</p>	<p>(1)配慮している ・「もくじ」では、単元に関連する前の学習と後の学習について単元名が記されており、系統性が分かりやすい。巻では、教科書の使い方や学び合い、ノートの書き方を示している。「算数の大切な考え方」では、学習した考え方のポイントをまとめるページがある。単元の導入時は、児童の生活場面に合ったものとなっている。 ・年度初めの学び合いをする内容について、実写の学び合いシーンがあり、学習に取り掛かりやすい。 ・巻頭に単元ごとに自分でまとめるところがあり、振り返りがしやすい。 ・6年間を通して、線分図で考えられるよう統一している。 ・目次から系統性が分かりやすい。生活場面との結びつけが多く、単元の導入やまとめて、児童が生活に算数を活用しやすくなるように構成されている。本単元で必要な既習内容が丁寧に描かれていて、問いを生みやすく書かれている。 ・プログラミング教育は全学年扱っている。 ・身の回りの算数、楽しい算数web等 (2)配慮している 高学年の教科書では、中学校での学習例を紹介しているページがある。</p>	<p>(1)配慮している ・「もくじ」では、単元に関連する前と後の学習が記号で示されており、つながりを感じることができる。巻頭では、教科書の見方やノートの書き方について示している。単元の導入時は、児童の生活場面に合ったものとなっている。 ・割合の単元では、線分図と関係図の2つで試行できるように編集している。 ・第1学年では、図をかくにあたり、段階を経てかくことができるように構成されている。割合につながる倍の計算が3回に分かれて構成されている。第4学年では概数をデータで表す学習、第5学年ではデータの活用と位置付けられているように、データの活用領域では、知識技能を身に付ける単元と活用する単元で分けて構成されている。 ・アニメキャラクターを用いたり、考えや図が児童の文字で示されたりしており、学び方が分かりやすい。見方・考え方が分かりやすく示されている。 (2)配慮している ・単元の順番が特徴的である。 例)4年 1けたのわり算→2けたのわり算と連続している点 5年 面積や体積の学習が学年の後半に設定 6年生が唯一分冊(まとめの学習のみ薄別冊で編集)。 6年生は中学校へのかけはしのページがある。</p>	<p>(1)配慮している ・「もくじ」では、単元に関連する前の学習を単元名で適宜示している。巻頭の「算数をはじめよう」では、算数の学習で大事なポイントや教科書の使い方について示している。単元の導入時は、児童の生活場面に合ったものとなっている。 ・各学年の巻頭に既習の「見方」をまとめているページが使いやすい。 ・PPDACを使った考え方が、4年生あたりから出てきて、5年生では、1単元で使っている。 ・わりざんでは、包含除から指導を行っている。(6社中当社のみ) ・単元末に「4コマ漫画」でその単元の内容を復習できるような工夫をしている。 ・第1学年では、たし算からブロックでの操作を図に表していけるようにかかっている。第1学年からプログラミングで遊びながら学べるオリジナルのアプリが二次元コードで組み込まれている。第3学年では表計算シートも組み込まれている。 ・プログラミング、表計算ソフト、ペトミノ、学習用端末、生活に生かすなどが取り入れられている。 (2)配慮している ・1年生は、唯一1冊のみで編集している。 ・「学びの手引き」、「学び方のページ」、「道具の使い方」があり、個別学習がしやすいようである。</p>	<p>(1)配慮している ・「もくじ」では、単元に関連する前の学習を単元名で記している。巻頭では、教科書の使い方や、ノートの書き方などを掲載している。単元の導入時は、児童の生活場面に合ったものとなっている。 ・各学年の最初の授業でノート指導の学習と併せて、既習の復習を入れている。 ・位取りの学習で、他社の多くは、1桁ごとに色分けしているが、ここだけ4桁ごとに色分けしている。 ・5年生の面積では、三角形を先行して行い、その後、平行四辺形の指導に入る(6社中当社のみ) ・線分図というよりも、独特の箱図(関係図)を使用している。 ・第1学年からプログラミングで遊びながら学べるオリジナルのアプリが二次元コードで組み込まれている。第2学年からテープ図が様々な単元で描かれている。第3学年では分数から小数の流れで構成されている。 ・「もくじ」では単元に関連する前の学習を示している。1時間の授業モデルやノートの書き方を提示し載せる。 ・SDGs、読み取る算数、学びを活かそう、未来へのとびらのページがあり、キャリア教育や生活に関連するページがある。 (2)配慮している ・巻末に「数学的活動」で使える付録がついているのは便利である。 ・1年生は、唯一1冊のみで編集している。 ・「学びの手引き」、「学び方のページ」、「道具の使い方」があり、個別学習がしやすいようである。</p>	<p>(1)配慮している ・「もくじ」では、単元に関連する前の学習を単元名で記している。巻頭で1時間の授業モデルやノートの書き方を示している。また、単元の初めに、関連する既習内容を確認するページがある。単元の導入時は、児童の生活場面に合ったものとなっている。 ・学期ごとに1～2点対話的な学びができるような課題設定がされている。 ・2年生から6年生まで「倍」「割合」の内容をスモールステップで積み上げられる単元構成がされている。 ・線分図を使用した指導ができるようにしている。 ・日常生活の動きを細かく分ける学習を構成し、プログラミング的思考を取り入れられている。生活場面で実際に学習したことを活用したり、調べたりできるよう構成されている。データの活用では、発展的な学習として、棒グラフを縦に重ねたり、横に並べたりする内容まで扱っている。 ・「もくじ」では単元に関連する前の学習を示している。1時間の授業モデルやノートの書き方を提示し載せる。 ・SDGs、読み取る算数、学びを活かそう、未来へのとびらのページがあり、キャリア教育や生活に関連するページがある。 (2)配慮している ・巻末に「数学的活動」で使える付録がついているのは便利である。 ・1年生は、唯一1冊のみで編集している。 ・「学びの手引き」、「学び方のページ」、「道具の使い方」があり、個別学習がしやすいようである。</p>	
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目 「主体的・対話的に深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している ・巻頭や一部の単元の途中に「マイノート」の作り方や生かし方が掲載されていて、ノートを活用して学びを深める方法を確認することができる。 ・巻末に「おもしろんだい」が用意されており、単元の学習内容を発展させ、学びを深めることができる。 ・身近な商品などの実物の写真掲載が多くみられる。 ・「学習のしあげ」に見方、考え方がおさえられるよう整理されている。 (2)配慮している ・練習問題はチェックしながら複数回取り組めるようになっているとともに、補充問題があり、問題数が十分確保されているため、進度や理解度によって取り組むことができる。</p>	<p>(1)配慮している ・巻頭には、前学年の学習例に例して学び合いを深めるための学び方、ノートの書き方、話し方と聞き方が示されており、集団で学びを深めるための方法が示されている。4年生以上では巻末に「数直線図のかき方」がまとめられているページがあり、数量関係を考える手立てとして系統的に使わせようとする意図が見える。 ・学習問題のイラストに出てくる登場人物は、教師と児童の問答形式ですすんでおり、対話的な活動を行いやすい。 ・巻頭ページに「算数の大切な考え方」がのっており、各学年の発達段階において、必要な学び方や考え方が掲載されている。 (2)配慮している ・練習問題の番号が色分けがされていたり、巻末の「プラス・ワン」に補充問題が掲載されていたりして、問題数が豊富にあるため、自分の進度に合わせて選択しながら取り組むことができる。</p>	<p>(1)配慮している ・上巻の巻頭と下巻の巻末に「考え方モンスター」として、考えを深めるためにキーワードが示されていて、単元の学習の中にもそのイラストを入れてヒントを示している。また、他社と同じように学年の初めにノートの作り方を示し、学びを整理する方法を示している。 ・単元の導入ページがコミック形式になっており、問題場面をとらえやすくなっている。 (2)配慮している ・巻末には補充問題と単元の学習を深める問題が用意されているため、自分の進度や理解度に合わせて問題の量を調節して取り組むことができる。</p>	<p>(1)配慮している ・他社と違い巻頭や巻末にまとめられてはいないが、「学びの手引き」として、算数で使うべき見方や考え方、ノートの作り方といった学びを深める方法やその基礎となる数直線のかき方や図形のかき方などが示されたページがある。 ・吹き出し部分に、対話的学習を促す発問が多く示されている。 ・どの単元の初めに、「どんな学習がはじまるのかな」のコーナーがあり、これから学ぶ内容を紹介しており、単元の見通しをもてる。 ・単元の最後に、「学んだことを使おう」という生活に活用できる問題を載せている。 (2)配慮している ・巻末には自分で取り組むページとして基本の問題と発展問題が用意されており、自分の進度や理解度に合わせて取り組むことができるようになっていく。</p>	<p>(1)配慮している ・2年以上巻頭に「算数のとびら」と称し、学習の進め方、話し合いの仕方、ノートの作り方が示されていて、教員と児童と一緒に確認することができる。また、全学年の振り返り項目もあるため、立ち戻ることができる。 ・単元の最初の「おさえる」問題は、教科書に書き込めることができる。 ・「めあて」の次に問題を解くうえで大事なポイントが示されている。 (2)配慮している ・練習問題はチェックしながら複数回取り組めるようになっていくとともに、巻末には「学びのサポート」として、自分の理解度に合わせて選択して取り組む問題が用意されているため、進度によって多くの問題を解き、理解を深められるような構成である。</p>	<p>(1)配慮している ・巻頭にはノートの作り方のページ、単元の前には前学年までの既習を振り返る問題が掲載されており、主体的に考え、深めるための手立てとしてほしいとの意図がみられる。巻末には図を使って考えるためのテープ図や数直線図がまとめられるページがあり、学びを深める助けとなる。 ・単元の導入の前に、「つぎの学習のために」という既習内容を振り返ることができるページを設けている。 ・問題に対しての考え方を複数提示されており、それぞれの考えを比較しながら対話的な授業を進められるよう配慮されている。 (2)配慮している ・巻末には「算数マイトライ」として基礎、習熟、発展に分けて問題があるので、自分の理解度に合わせて取り組むことができる。</p>	
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮しているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)文字の大きさや太さに配慮し、UDフォントを使っている。また、色覚特性にも配慮している。 ・単元名、問題、めあて、まとめで緑色で統一されているので分かりやすい。 ・めあてに「？」のマークで統一しているため、児童に分かりやすい。 ・二次元コードが定位置にあり、児童が目につく大きさで分かりやすい。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、色分けも配慮されている。特に、グラフは表の線が薄くなり、グラフの線が太いため見やすくなっている。</p>	<p>(1)文字の大きさや太さに配慮し、UDフォントを使っている。また、色覚特性にも配慮している。サイズがやや大きく、適度に余白があり、書き込みしやすい。 ・問題を緑の枠、めあてとまとめで赤の印をつけ太字で表しているのが分かりやすい。 ・各ページに小単元名を矢印で記しているため、分かりやすい。 ・図形の問題で各図形の問題を色別に提示しているため、区別が付きやすい。 ・目に優しい淡い色を使用している。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、色分けも配慮されている。特に、グラフは表の線が薄くなり、グラフの線の色を分け、見やすくなっている。</p>	<p>(1)文字の大きさや太さに配慮し、UDフォントを使っている。また、色覚特性にも配慮している。サイズがやや大きく、適度に余白があり、書き込みしやすい。 ・問題を緑の枠、めあてとまとめで赤の印をつけ太字で表しているのが分かりやすい。 ・各ページに小単元名を矢印で記しているため、分かりやすい。 ・図形の問題で各図形の問題を色別に提示しているため、区別が付きやすい。 ・目に優しい淡い色を使用している。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、色分けも配慮されている。特に、グラフは表の線が薄くなり、グラフの線の色を分け、見やすくなっている。</p>	<p>(1)文字の大きさや太さに配慮し、UDフォントを使っている。また、色覚特性にも配慮している。 ・問題を緑の枠で囲まれているのが分かりやすい。 ・めあて、まとめで赤で統一されていて、分かりやすい。 ・写真が以前と比較すると柔らかい印象に変化している。 ・図形が大きく見やすく提示されている。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、色分けも配慮されている。特に、グラフは表の線が薄くなり、グラフの線が太いため見やすくなっている。</p>	<p>(1)文字の大きさや太さに配慮し、UDフォントを使っている。また、色覚特性にも配慮している。 ・問題を緑の枠で囲まれているのが分かりやすい。 ・めあて、まとめで赤で統一されていて、分かりやすい。 ・写真が以前と比較すると柔らかい印象に変化している。 ・図形が大きく見やすく提示されている。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、色分けも配慮されている。特に、グラフは表の線が薄くなり、グラフの線が太いため見やすくなっている。</p>	<p>(1)文字の大きさや太さに配慮し、UDフォントを使っている。また、色覚特性にも配慮している。 ・めあての表記(太字、赤線)、まとめの表記(太字、赤枠)で統一され、分かりやすい。 ・復習問題が鉛筆マークで表記されていて、分かりやすい。 ・説明の図は対照的な色使用で示しているため、分かりやすい。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、色分けも配慮されている。特に、グラフは表の線の種類を変え見やすくなっている。</p>	
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している ・学習展開や数学的な見方・考え方の可視化、めあてやまとめの明示の徹底など、指導の文脈を分かりやすく表している。 ・1～5年上下2冊、6年1冊、1年生は「はじめようさんすう」が大判で見やすい。 ・各学年、巻頭には、「学びのとびら」で学習の仕方やノートのとり方が明示されているので指導しやすい。また、単元ごとに、単元前の振り返りや単元後は復習があるため、学習を振り返らせることができる。 ・6年生の巻末は、「算数卒業旅行」として、中学校体験入学コースやクイズバスルコースなど、児童が自分で選択して興味をもって学習させることができる。 (2)配慮している ・巻末の補充問題の他にデジタルコンテンツがあり、正誤判定、ヒントや解説、正誤の履歴表示などの機能があり、家庭学習に使える教材となっている。 ・二次元コードやDマークで各自で学習を振り返ったり、補充したりすることができる。 (3)配慮している ・およその面積の学習では、東京ドームや神宮球場の広さを紹介している。</p>	<p>(1)配慮している ・まとめの囲みを赤枠と青枠の2種類設け、児童と指導者が見いだすべきものと区別できるようにしている。 (2)配慮している ・適用問題では、印で問題のタイプ分けを提示するとともに、巻末補充問題を全単元にわたって設定されている。 ・単元末の「たしかめ問題」にも、印を付け、個に応じて問題を選択できるようにしている。 ・二次元コード、ウェブコンテンツには見出しがあり、検索しやすい。 ・写真資料が多く、興味をもちやすい。 (3)配慮している ・縮尺の学習では、上野の東京国立博物館の地図を使っている。</p>	<p>(1)配慮している ・算数で大切な見方・考え方を「考え方モンスター」で表し、具体的な例を示しながら意識して使えるようにしている。 ・習得すべき力が明示されているとともに、チェック欄が設けられている。 ・巻末の補充問題の他にデジタルコンテンツがある。正誤判定、ヒントや解説、正誤の履歴表示などの機能があり、家庭学習に使える教材となっている。 ・1～5年は上下2冊、6年は1冊。ふりがえり「？を解決し」→「つなげたいな」(単元末)のコーナーがあり、振り返りに役立つ。 (2)配慮している ・巻頭の「ノート名人」で書き方を参考にできる。二次元コードあり。</p>	<p>(1)配慮している ・巻頭の学習のすめ方では、「はてな」「なるほど」「だったら」など、学習の展開をシンプルに分かりやすく表現されている。 ・巻末には、既習の見方・考え方や知識等が一覧で掲載され、繰り返し参照して学べるようになっている。 ・1～4年は上下2冊、5・6年は1冊。3年以上の巻末には「自分で取り組むページ」(ステップアップ算数、広がる算数)があり、進度によって、課題を与えられる。 (2)配慮している ・巻末に補充問題の「ステップアップ算数」が設けられており、家庭学習に使える教材となっている。デジタルコンテンツがある。 ・学びの手引きとして、「学びリンク」や「算数のミカタ」などがあり、自分で学習を進めやすい。6年の巻末には、4コマ漫画ギャラリーがあり、算数に關係する漫画があり楽しめる。</p>	<p>(1)配慮している ・すべての主問題について、「めあて」と「まとめ」、数学的な考え方が明示されており、学習の流れとポイントが明確で使いやすい。 ・1～4年は上下2冊、5・6年は1冊。 ・1～4年生は上下2冊、5・6年生は1冊。1年生のはじめは、大判のスタートブックがあり、取り組みやすい。4年生の巻末にクリア分度器があり、道具が揃うまで、不備の児童がいないので助かる。イラストが多く、児童にイメージさせやすい。 (2)配慮している ・巻末の補充問題の他にデジタルコンテンツがあり、正誤判定、ヒントや解説、間違いや問題などの確認ができ、家庭学習でも使えるようになっている。 ・「タブレットも使ってみよう」や二次元コードには、自分の考えの書き方や解決の仕方が分かりやすくなっている。6年の巻末には「算数サポート」で振り返りチャートがあり、自分で振り返りをしやすい。</p>	<p>(1)配慮している ・学習の進め方、ノートの書き方、教科書の使い方などが示されており、学習の流れが分かりやすいようになっている。 ・1～4年は上下2冊、5・6年は1冊。 ・巻末の補充問題「算数マイトライ」では、学習内容を補完する内容で、難易度別の問題となっており、授業や家庭学習のいずれでも取り組めるように構成されている。デジタルコンテンツがある。 ・学び方の4ステップの中に、「算数ノートをつくらう」があり、ノートの書き方が家庭でも分かるようになっている。二次元コードに「練習」「動かす」「見ると答え」など、見出しで分かりやすくなっている。2～6年の巻末に「算数マイトライ(自習ページ)」で自分で学習できるようになっている。</p>	
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>・1～5年生は2冊、6年生は1冊 ・文字を使って、式などを表している場面が多い。その内容は中学数学の教科書でも載せてある。 ・巻頭に著名人の「私と算数」というコラムが掲載されていて、児童が算数に興味をもつよことへの思いが伝わる。 ・二次元コードで教科書の問題を読みとり、タブレット上で問題を解くことができる。さらに丸付けもでき、その問題の解説もタブレットでみることができる。 ・単元導入では、既習内容が詳しく掲載されているため、本時への学びへとつなげやすくなっている。また、単元学習後に、発展学習や興味関心を広げるページがあり、学びを加速しやすい構成されている。</p>	<p>・1年2冊、2年～6年は1冊 ・巻末には「数学の世界」として、中学数学の概要が載せられている。(15ページ程度) ・単元に関する既習の解説動画やイラストの二次元コードを載せている。 ・既習を確認するための動画、筆算や作図など技能を知るための動画、実際に操作するためのアプリなど、児童が個別に学習に向かうことができるように工夫されている。</p>	<p>・他の5社と比べて、教科書が横に広い。 ・6年生のみ1冊 ・SDG'sを意識した読み物や2年生以上の下巻の巻末にある。 ・二次元コードを読み込んで動画解説をみることができる。 ・算数で見つけた「考え方モンスター」が各学年にかかっている。算数で身に付けた考え方を6年間を通して指導できるように構成となっている。</p>	<p>・1年、5年、6年は1冊、2年～4年は2冊 ・適宜、発展項目「はってんで」、中学1年の数学についても触れている。 ・二次元コードを読み込んで動画解説をみることができる。 ・教科書冒頭にある「算数で使いたい見方・考え方は」各学年で共通して活用できるツールになる。児童がイメージしにくい立体図形の学習では、二次元コードを活用し、手で操作しながら学ぶことができるなど、操作ができる箇所も多い。巻末の広がる算数では、数学につながる発展的な学びが多岐にわたり掲載されている。</p>	<p>・1年、5年、6年は1冊、2年～4年は2冊 ・二次元コードを読み込んで音声付きの動画解説をみることができる。 ・二次元コードが多くの場面で掲載されている。場面把握が難しい場面、図のかき方や筆算の仕方など、技能を補うための動画など、児童が自分のペースもしくは家庭でも学習が進めやすくなっている。学年によって扱う図が異なっており、様々な図で学習することができる。第5学年の割合では、関係図と線分図の2つが提示されており、児童が選択して学べるように構成されている。</p>	<p>・中学校での学習例を紹介しているページを設定している。 ・二次元コードを読み込んで動画解説をみることができる。 ・児童の思考を助ける二次元コードが多く設置されている。自力解決や他者の考えを聞いた後、理解が難しい児童にとっては、個別に二次元コードを読み取ることで、理解をサポートしてくれる。巻末には児童の学びを活用できたり、興味関心を広げる項目が多く設置されている。より学びに向かうことができるような構成となっている。</p>	

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 理科 1/1枚目						信州教育 出版社	啓林館
調査の観点	発行者名 東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	見本がないため調査不能		啓林館
<p>1 内容</p> <p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。</p> <p>(2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決のヒントとなる漫画を活用し、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。 「問題をつかもう」において、前時の疑問(例示)があり、本時への学習課題へとつながっている。児童主体の問題解決学習を実現できるように構成されている。 理科の見方・考え方を働かせながら、問題を解決をできるように工夫している。 <p>(2)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に考えて欲しいポイントが、「考えよう」という小見出しで分かりやすく示されている。さらに、5・6年生では、観察・実験からどのようなことができるのか考える場面では「考察しよう」という言葉を使うことで、発達段階に応じて、より深く考えることを促している。 	<p>(1)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決学習を進めるために重要な、理科の見方・考え方を働かせながら、問題を解決できるように工夫している。 算数や生活科などと関係している部分を単元名やページなどで分かりやすく示すことで、児童がより主体的に学びやすくなっている。 学んだことがどのように活用されているか、理科の有用性を実感できる資料がある。 <p>(2)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年生の「電池のはたらき」では、児童が簡単に実験の準備ができるように、工夫されている。工作用紙にアルミを貼り、ワニ口クリップを使うことで簡単に並列つなぎができることを例示し、理解しやすい。 	<p>(1)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 「理科モンスター」というキャラクターを登場させ、学年に応じて、そのキャラクターを進化させることで、問題解決の流れや学年ごとに大事にしたいポイントが分かりやすく示されている。 <p>(2)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決をゲームに例えることで、どの子も楽しんで取り組める配慮がなされている。また、「もっとしりたい」のコーナーでより発展的な内容を取り扱うことで、意欲的な児童の興味も大事にすることができている。 	<p>(1)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 見方・考え方を「大切にしたい言葉」として、整理している。キャラクターを登場させ、セリフの中で見方・考え方の例示をしながら、問題解決の流れを示している。 実験方法を考える上で必要な実験器具の資料が例示されている。まなびリンクコンテンツは、「どうしたらいいの？」という資料がヒントとして採用されている。 <p>(2)配慮されている</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大切にしたい言葉」を学年ごとに変えることで、その学年ごとに、学んでいくことがはっきり分かるようになっている。また学年が上がるにつれて、挿絵が減り、文章での説明が増えていく構成になっている。 			
<p>2 構成上の工夫</p> <p>(1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。</p> <p>(2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「考えよう」「考察しよう」で登場人物のセリフの文末が「…」等と言い切らない形なので、児童自身で考えることで思考力・表現力を伸ばす工夫がされている。 「知っていること」「問題をつかもう」を確認し上で、学ぶべき課題と学習の流れが明確に示されているので、主体的に学習できる内容になっている。 対話の場面を適切に取り入れており、対話の視点も分かりやすい。 視点を変えた問いを設定して深い学びができるように配慮されている。また、日常生活の中で、理科で学習したことを生かしたり、考え方が広がったりするようになっている。 導入の写真から児童に疑問を投げかけることで、問題解決学習に取り組みやすくなっている。 デジタルコンテンツがあるため、児童の主体的な学びを手助けする手立てとして有効である。 <p>(2)児童の発達段階に合わせてレイアウトや文字量が工夫されており、十分配慮されている。</p> <p>各領域によって、特に【実験方法】や【結果】の割り付け・補助資料の分量が適切に変えられている。</p>	<p>(1)配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の扉絵に学習のきっかけになる事象の提示と写真を多く取り入れ、児童が「気が付いたこと」を基に「問題を見付けること」につながる工夫がされている。 学ぶべき課題と学習の流れが明確に示されているので、主体的に学習できる内容になっている。 対話の場面を適切に取り入れ、注目すべき点も明記されている。 学んだことを生かして問題に挑戦することでさらに深い学びができるように配慮されている。 「予想」や「考えよう」「考察」で登場人物に吹き出しが多くあり、児童の思考の助けになるように工夫されている。 計画や考察を話し合いを用いながら考えられるようになっており、対話的な学習ができるよになっている。 「確かめよう」「学んだことを生かそう」を単元末に位置付けることで、身近な事柄につながり、深く考える場となっている。 <p>(2)児童の発達段階に合わせてレイアウトや文字量が工夫されており、十分配慮されている。</p> <p>各領域によって、特に【実験方法】や【結果】の割り付け・補助資料の分量が適切に変えられている。</p>	<p>(1)配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元で身に付ける力が明確で、児童が見付けた問題を基に、学ぶべき課題が提起されているので、主体的に学習できる内容になっている。 対話の場面を適切に取り入れている。 興味を引くような発展的な内容も取り入れることで深い学びができるように配慮されている。 RPゲームを連想させるキャラクターやレベルアップという言葉で学習が進めていくように構成されており、理科に苦手意識をもっている児童にも適している。 「実験結果」の表が空欄で書き込めるようになっている。体験したことが生かされるように工夫されている。 児童が親しみやすいイラストを用いているため、児童が学びに向かいやすくなっている。 <p>(2)児童の発達段階に合わせてレイアウトや文字量が工夫されており、十分配慮されている。</p> <p>各領域によって、特に【実験方法】や【結果】の割り付け・補助資料の分量が適切に変えられている。</p>	<p>(1)配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知っていること」を確認し、児童が見付けた問題を基に学習できるようになっており、学ぶべき課題と学習の流れが明確に示されているので、主体的に学習できる内容になっている。 対話の場面を適切に取り入れている。 「見方のカギ」「考え方のカギ」という思考表現を助ける文言があり、対話場面での道筋となるよう工夫されている。また、「確かめよう」を利用して、内容の定着を図ることができる。 「資料」が多く記載されており、自ら学びに向かいやすい物となっている。 「チャレンジ」が各単元にあり、児童の主体的な学びにつながるようになっている。 <p>(2)児童の発達段階に合わせてレイアウトや文字量が工夫されており、十分配慮されている。</p> <p>各領域によって、特に【実験方法】や【結果】の割り付け・補助資料の分量が適切に変えられている。</p>		<p>(1)配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめに「思い出そう」の項目で系統性のある全単元を想起させるイラストがあり、「予想」「計画」で主体的に考えられるように工夫されている。また、登場人物に吹き出しが多くあり、思考の助けになると考えられる。 対話の場面を適切に取り入れ、思考の手助けになる内容も明記されている。 視点を変えた問いを設定して深い学びができるように配慮されている。また、日常生活の中の理科につながるような活用の場面も設定されている。 「くらしとリンク」を単元末に位置付け、日常の事柄につなげることでより学習を深めることができるようになっている。 <p>(2)児童の発達段階に合わせてレイアウトや文字量が工夫されており、十分配慮されている。</p> <p>各領域によって、特に【実験方法】や【結果】の割り付け・補助資料の分量が適切に変えられている。</p>	
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。</p> <p>(1)児童にとって読みやすい表現であるか。</p> <p>(2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題、観察などの見出しの色が統一されているため読みやすい。 実験に必要な物の欄にチェックを入れられる口がある。 <p>(2)見やすさ・分かりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストや写真、挿絵が大きく、豊富にある。 単元の終わりのコラム？が充実している。 	<p>(1)読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り仮名が該当学年でも適宜ふってあるため、漢字が苦手な児童にも優しくなっている。 安全面の注意点やポイントの記述を、目立つ色で記述している。 新出単語等の重要な単語が太文字になっている。 <p>(2)見やすさ・分かりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真の説明も詳細。問題と結果が同じ見開きに乗っていないのも学習に使いやすい。 	<p>(1)読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 未習の漢字に、ふりがながついているため読むことができる。見出しの色がすべて青で統一されている。 児童の会話のイラストがあり、学習の理解や考えのヒントになりそう。 <p>(2)見やすさ・分かりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートの書き方の例を示しており分かりやすい。 色がはっきりしている。 	<p>(1)読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 予想を立てる際に、見本で理由を表す言葉が赤いラインが引かれており、考え方を位置付けられている。 思考におけるポイントにラインマーカーがしてあり、見やすなりそう。 <p>(2)見やすさ・分かりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しりょう」の写真が大きく、補足が充実している。 実験の様子分かる写真が多い。 		<p>(1)読みやすい表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報量が選定されており、簡潔にまとまっている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。 問題、まとめ等のマークがはっきりしている。多用されている。 <p>(2)見やすさ・分かりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真はクリアで見やすいものになっている。 実験の様子イラストが分かりやすい。 	
<p>4 使用上の便宜</p> <p>(1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。</p> <p>(2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。</p> <p>(3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)教員にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年から6年の巻末で理科室の決まりが意識できるようにしている。さらに観察・実験での安全への配慮が各単元の必要な箇所にも示され、授業を進めていく上で使いやすい配慮をしている。 <p>(2)児童にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ものづくり」や全国学力学習状況調査を意識したチャレンジ問題を掲載し、活用する能力を高める場を設定している。 記録カードの書き方、ノートのとり方、発表のし方、器具の扱い方が巻末にまとめられ利用しやすくなっている。 家庭学習や学習を深める情報収集に活用できるよう、二次元コードを配置している。 単元末の「たしかめよう」に思い出そうが設けられ、家庭学習に対応できるようにしたり、「考えよう」で生活場面につなげられたりするように工夫している。 A4判で大きいため、字も大きくなっている。 <p>(3)地域性</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年でカイコの資料があり、世界遺産富岡製糸場の記載がある。 4年でヘチマを栽培、5年でも活用できる。 	<p>(1)教員にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年から6年の巻末に理科室の決まりが意識できるようにしている。さらに観察・実験に必要な用具、安全への配慮が各単元の必要な箇所にも示され、授業を進めていく上で使いやすい配慮をしている。 SDGsとの関連性に触れている。 <p>(2)児童にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「考えよう調べよう」において記録方法、観察、実験での視点、まとめ方について掲載している。 単元末の「ふりかえろう」で、学習の振り返り、理解度を確認することができ、自己の変容を確認できるようにしている。 実験器具の使い方を見たり、興味・関心に応じたプログラミング体験を二次元コードからできるようにしたりする配慮をしている。 紙面サイズが、A4判で大きいため、資料や文字が大きく掲載されている。また、文字に適切にルビがふってあり、とにかく読みやすい。 <p>(3)地域性</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年でカイコの育ち方の資料が載っている。 5年でヘチマとアサガオを栽培している。 	<p>(1)教員にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察・実験に必要な用具、安全への配慮が各単元の必要な場所に示され、授業を進めていく上で使いやすい配慮をしている。 SDGsとの関連性に触れている。 <p>(2)児童にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「考えよう調べよう」において記録方法、観察、実験での視点、まとめ方について掲載している。 単元末の「ふりかえろう」で、学習の振り返り、理解度を確認することができ、自己の変容を確認できるようにしている。 実験器具の使い方を見たり、興味・関心に応じたプログラミング体験を二次元コードからできるようにしたりする配慮をしている。 紙面サイズがABサイズとなっており、児童が机上スペース内で取り扱いやすいように配慮されている。 <p>(3)地域性</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年でカイコの育ち方の資料が載っている。 5年でヘチマとアサガオを栽培している。 	<p>(1)教員にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察・実験に必要な用具、安全への配慮が各単元の必要な場所に示され、授業を進めていく上で使いやすい配慮をしている。 SDGsとの関連性に触れている。 その時間の実験に使う道具がリスト化されていてわかりやすい。 <p>(2)児童にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年巻末と次学年の巻頭に『〇年で学んだこと』(同じ内容のもの)を掲載し、学習の積み重ねとして振り返ることができるようになっている。 単元末の『たしかめ』で、学習の振り返り、理解度を確認することができ、家庭学習に活用できるように工夫している。 家庭学習や学習を深める情報収集に活用できるよう、二次元コードを配置している。 紙面サイズがA4変型サイズとなっており、児童が机上スペース内で取り扱いやすいように配慮されている。 <p>(3)地域性</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年で学習教材としてカイコの育ち方が載っている。 4年でヘチマを栽培し、5年でも活用できるようになっている。 		<p>(1)教員にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> その時間の実験に使う道具がリスト化されていてわかりやすい。 <p>(2)児童にとっての使いやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末の『まとめノート』『たしかめよう』『活用しよう』は、学習の振り返りやノートづくり、家庭学習に活用できるように工夫している。 単元の終わりに二次元コードについており、「たしかめよう」の分からなかった問題が解説されており、児童が分かるように配慮されている。 紙面サイズがABサイズとなっており、児童が机上スペース内で取り扱いやすいように配慮されている。 <p>(3)地域性</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年でカイコから絹糸が作られる資料が載っている。 4年でヒョウタンを栽培、5年でヘチマを栽培している。 	
<p>5 その他</p> <p>※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>							

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 生活 1/1枚目

調査の観点	発行者名	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	信州教育出版社	光村図書	啓林館
1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。		(1) ・イラストの吹き出しが児童の言葉で書かれており、ねらいを児童がイメージしやすいよう工夫している。 ・「どきどきわくわく1ねんせい」がスタートカリキュラムに対応している。 (2) ・クイズや間違い探しなど、児童の興味につながる工夫がある。 ・国語と関連させた学習活動ができる。 ・観察カードの書き方がわかりやすい。 ・ページの下部にインデックス様の表記がある。	(1) ・「自分発見」の単元の内容が分かりやすく充実している。 ・「しょうがっこうせいかがはじまるよ」がスタートカリキュラムに対応している。また、児童が考えられる絵で示している。 (2) ・「学習道具箱」という生活科に特化した事典のようなページがついている。味のあるイラストが親しみやすい。	(1) ・インデックスがついていて、単元の段階がわかりやすい。「学び方図鑑」は他教科等でも活用でき、充実している。 ・「はじまるよしょうがっこう」がスタートカリキュラムに対応している。 (2) ・観察カードの書き方がわかりやすい。「2年生になってやってみよう」を書いてみようなど、書き込みができる工夫がある。 ・「ものしりノート」が各単元についており、授業で活用しやすい。	(1) ・育成する資質能力が明示されている。生活科で育む「6つの力」を引き出す工夫が多くみられる。 ・めあてが大きく、何を学習するかがわかりやすい。 ・「はじめのいっぽ」がスタートカリキュラムに対応している。 (2) ・児童目線のキャラクターが学習意欲を生み出す。児童が主体的に学習に取り組むための工夫がしてある。	見 本 本 が な い た め 調 査 不 能	(1) ・単元の展開の仕方がわかりやすい。ねらいが明確に押さえられている。 ・「いちねんせいのはじまるよ」がスタートカリキュラムに対応している。 (2) ・ヨシタケシンスケ氏のイラストが児童の興味関心につながる。 ・振り返りの視点がイラストで書かれており、見やすく考えやすい。 ・「ひろがるせいかつてん」が見やすく児童にとっても活用しやすい。 ・国語と関連させた学習活動ができる。シンプルな紙面構成であることが、児童の想像力や発想力をより引き出せる。	(1) ・インデックスで学習の流れが示しており、単元の見通しがもてるようになっている。 ・スタートカリキュラムの内容が充実している。 ・「すたあとぶつく」がスタートカリキュラムに対応している。 (2) ・3年生へのステップブックがついていて、次年度への期待がもちやすい。 ・情報量が多く、取扱いに工夫を要する。
2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。		(1) ・伝え合いや交流が生まれる工夫が例示しており吹き出しのつづやきを見て課題をつかむ参考になる。 ・安全上の配慮を考えられるようにしている。 ・「かあどのかきかた」が児童に分かりやすい。 (2) ・配慮している。	(1) ・写真や絵が豊富なのでそこから主体的に考えることができる。 ・見出しの言葉が目に入りやすい。 (2) ・配慮している。 ・シンプルなので分かりやすい。	(1) ・「見つける」から「調べる」「まとめる」の3段階の学びの構成で問題解決能力がつくようになっており、学習段階が児童にも分かりやすい。 ・ふりかえりのページがよい。 ・「ものしりのうと」でカードの書き方が児童に分かりやすい。 (2) ・配慮している。 ・写真が多く、見やすい。	(1) ・問いかける表記が多く、自然と主体的・対話的で深い学びの実現につながりやすい。学習段階が児童にもわかりやすい。 ・ヒントを載せ、多くは示さないことで児童に主体性をもたせるようにしている。 ・ふりかえり「なにをかんだかな」がよい。 ・スケールチャートの目次がよい。 (2) ・配慮している。		(1) ・活動の段階で考え方が示されていて、自分で活動しやすくなっている。 ・ヒントになる情報を載せ、多くは示さないことで児童の主体性をもたせるようにしている。 ・安全上の配慮を考えられるようにしている。 (2) ・配慮している。 ・導入から活動の段階が見開き2ページで構成してあり、見やすくなっている。	(1) ・体験的な活動を通して児童の思考力や表現力を育むための工夫がある。動機付けになる工夫がよい。 ・学習段階が児童にも分かりやすい。 ・安全上の配慮を考えられるようにしている。 (2) ・配慮している。 ・比較的イラストが多く、話し方の話型の例示がある。
3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。		(1) ・分かりやすいシンプルな表現である。 ・板書が挿絵の中で示されていて参考になる。 (2) ・写真や絵が大きく見やすい。余白が十分に読んだり、探したりしやすい。 ・植物の成長の様子を写真資料で視覚的に捉えることができる。	(1) ・情報量が多い。透明なフィルムや簡単な工作など、児童が楽しめる仕掛けがある。 (2) ・写真・イラストが多く、児童が活動する際の例示として活用できる。身近な食べ物の種の写真があり、興味ももてる。 ・白黒で描いたシーンを次ページでカラーにし、変化に着目させている。	(1) ・文言を厳選している。文字の量が少なく、写真やイラストから児童に発見させたり、考えさせたりするページが多い。観察ノートの例が大きく、分かりやすい。 (2) ・イラストと写真がうまく調和している。 ・虫や草花、鳥などは細部まで丁寧に描かれたイラストが使われている。 ・遊び道具の作り方などが詳しい。	(1) ・ヒントとやくそく等、分かりやすい表現で統一している。活動の際の「ひんと」「やくそく」をシンプルで分かりやすい絵で示している。 (2) ・イラストと写真の情報量が多い。写真や絵は大きく見やすい。 ・道具の使い方など安全・危険の両面で示している。		(1) ・吹き出しが多く、フォントが手書き風で、親しみやすい。 (2) ・植物の写真は大きく見やすい。写真は少なく、イラストが多い。写実的でなく、絵本のようなタッチで描かれており、イラストの周りに配置されている「解決」の欄が分かりやすい。四季のイラストが4ページにまとめられ、比較しやすい。 ・生き物の写真教材を切り離し、外に持ち出して活動ができるようになっている。	(1) ・児童の気付きを踏まえながら、活動の広がりにつながる構成になっている。 (2) ・写真や絵は大きく見やすいものが使われている。 ・自分のマークを描く欄があり、大事に使おうとする意識を芽生えさせる工夫がある。
4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。		(1) ・スタートカリキュラムの部分は下部が切り取られていて、指導上扱いやすい。 ・手作りマップ例が充実していて、まち探検等の学習成果物作成の参考になる。 ・板書例の中に、「かくしゅうのながれ」が囲み枠の中に示されていて、教員にとって児童に身に付けさせたい力を明確にして指導しやすい。 (2) ・単元や活動ごとに、「保護者の皆様へ」と、保護者に向けて学習のねらいや留意点を伝えている。 (3) ・下巻のみに都道府県レベルの祭り等が紹介されている。	(1) ・イラストの上に「ためす」「みとおす」「たとえる」「みつめる」「くらべる」「くふうする」などの学習活動のポイントが示されていて分かりやすい。 ・板書例はシンプルである。 (2) ・上下巻とも、目次のページの下の方に保護者に向けて生活科の趣旨が保護者向けに書かれている。 (3) ・上巻に都道府県レベルの郷土おやつが紹介されている。どの地域でも活動可能な内容となっている。	(1) ・「ものしりノート」・「ものしりずかん」には遊びや生き物、おもちゃなどが豊富に載っていて、手順もわかりやすく、子どもだけでなく、指導のヒントになりやすい。 ・上下巻とも表紙が生活科学習のすごろくになっており、学習活動の見通しがもちやすい。 (2) ・「先生・保護者の皆様へ」が巻末裏表紙内側にあり、生活科でどんな姿を目指したいかが書かれている。 (3) ・いろいろな地域のお祭りや特産品の野菜動物園などの写真が市町村レベルで紹介されている。	(1) ・手書き風の見やすい板書例が豊富に示され、Xチャートやイメージマップなど、思考ツールの活用の仕方が教員にとって参考にしやすい。下巻には児童向けに「ひろげる・つなげる・わかる」などと分類した思考ツールが示されている。 ・巻末学びのポケットには、他教科との関連が分かりやすく示され、関連書籍も紹介されている。 (2) ・上下巻とも保護者に向けて、付けたい6つの力（きづく・じぶんでできる・かながえる・つたえる・ちようせんする・じしんをもつ）を示している。家庭でも活用できる「まなびリンク」についても目次に明記されている。 (3) ・下巻「わたしのまちのじまん」などで、特色を市町村・外国レベルで紹介している。		(1) ・目次は季節ごとに単元が分かれて表記されており、見やすい。 ・他社と比較し、どの活動も手書き風のフォントで見やすい大きな字で、子どもの自然なつづやきから構成されていて、教師が教える生活科でなく、子ども自身が主体的な学びとなる指導の在り方を考える上で有効である。 ・下巻おもちゃ単元では、いきなり制作例を示すのではなく、「はじく・ころがす」などの素材遊びから作ることに繋げていく工夫がある。 ・上巻巻末に、切り取って野外に持ち出せる丈夫なミニ図鑑のカードや、別冊の「ひろがるせいかつずかん」の使い勝手がよい。 (2) ・日本各地の施設や行事を紹介している。 ・各活動のページの下に、「保護者の皆様へ」のコーナーで、「季節感について児童と一緒に話してみてください。」といった保護者のかかわり方についての表記がある。	(1) ・学習用端末の活用につながる二次元コードが充実しており、「雨の日のふしぎ」「種のまきかた」など48本の動画が必要に応じて活用できるようになっている。「デジタルたんけんブック」では、低学年にとって、適度な量であり、ルビもあって調べ学習リンクが活用しやすい。 (2) ・「おうちでもっと生活科」というコーナーが分かりやすく示され、長期休業日中や臨時休業時も家庭で学習が進められるように工夫されている。
5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。		・教科書に多様な人々が登場している。家庭環境への配慮をしている。 ・教科書のサイズが大きくなった。 ・二次元コードを読み取り、インターネット経由で学習の参考になる情報を見ることができる。 ・地図の作成法が児童が分かりやすいように書かれている。 ・書きやすい素材の紙で、春ビンゴや友達からのサイン、気持ちなどを気軽に書き込めるような工夫があり、ワークブックの要素が強い。 ・秋の様子を想像するために、あえて白黒の写真にしたり、生き物単元では昆虫などに合わせてかごを横向きにししたりして例示するなどの工夫が見られる。	・教科書に多様な人々が登場している。家庭環境への配慮をしている。 ・二次元コードを読み取り、インターネット経由で学習の参考になる情報を見ることができる。 ・地図の作成法が児童が分かりやすいように書かれている。 ・書きやすい素材の紙で、春ビンゴや友達からのサイン、気持ちなどを気軽に書き込めるような工夫があり、ワークブックの要素が強い。 ・秋の様子を想像するために、あえて白黒の写真にしたり、生き物単元では昆虫などに合わせてかごを横向きにししたりして例示するなどの工夫が見られる。	・自然保護区や海岸清掃などSDGsの観点の紹介が示されている。	・教科書に多様な人々が登場している。家庭環境への配慮をしている。 ・二次元コードを読み取り、インターネット経由で学習の参考になる情報を見ることができる。 ・児童に馴染みのあるキャラクター「いぐら」が、自分の気持ちメーターをはしごで表して学習の振り返りに活用している。 ・いきものわくわくクイズが豊富にあり、また上下巻通して、「どうして～かな。」とハテナのつづやき、問いかけが多く、自然に探究したくなる工夫がある。		・教科書に多様な人々が登場している。家庭環境への配慮をしている。 ・二次元コードを読み取り、インターネット経由で学習の参考になる情報を見ることができる。 ・絵本作家の馴染みやすいイラストで、「こんなのもいいかもコーナー」で児童の自然なつづやきや「うまくいかないこともある」といったメッセージがさりげなく書かれていて、児童が親しみや安心感が得られやすくなっている。 ・メインキャラクターが、外国にルーツをもつであろう児童や車いすの児童となっている。 ・八王子いちょうなみきの写真も掲載されている。	・教科書に多様な人々が登場している。家庭環境への配慮をしている。 ・二次元コードを読み取り、インターネット経由で学習の参考になる情報を見ることができる。 ・AB版で軽くなっている。

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 音楽 1/1枚目

調査の観点	発行者名 教育出版	教育芸術社
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・学習内容に合わせて、題材で押さえるべきポイントを明確に示し、系統的に資質・能力を育むことができるようにしている。 (2)配慮している。 ・「学習マップ」で、児童の発達段階に即した学習の手がかりを具体的に示してあるため、単元のめあてや指導のポイントが明確である。</p>	<p>(1)配慮している。 ・学習内容に合わせて、何を学ぶか、何ができるようになるかを明確に示し、児童が主体的に学べるようにしている。 (2)配慮している。 ・児童の発達段階に即した各領域の学習活動が、巻頭の「学習マップ」で簡潔に示されており、分かりやすい。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・どの学年にも「まなびナビ」マークがあり、学びを深める手がかりにできる。 ・図や挿絵、写真なども有効的に配置されていることで、音楽を視覚的にもとらえやすく、学習のめあてに向かって、児童自ら学習を深めていくことができる。 (2)配慮している。 ・鑑賞教材の解説は、児童の発達段階に応じた分かりやすい言葉で書かれている。 ・中学校で扱う内容について、発展という形で注釈があり、今の学びが次につながっていくことを示してある。</p>	<p>(1)配慮している。 ・どの学年にも「見つける」「考える」「歌う」「演奏する」マークが設定されていることで学習活動が明確化され、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。 ・学級担任が指導する場合でも、演奏の工夫に導く記述や、児童が見通しをもって学習を進められるような配慮がある。 (2)配慮している。 ・発達段階を丁寧に追いながら学習を発展させている。また中学校で再度学習する曲も丁寧に扱われており、基礎を養うことができる。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・楽譜等すっきりとしていて見やすく、楽譜や学習のめあて・留意点など必要な情報に注目しやすい。 (2)分かりやすい。 ・イラスト等の色彩がやわらかく、見やすい。 ・写真(実物の鍵盤ハーモニカや風景等)が必要に応じて効果的に使われている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・UD体を多く使用し、読みやすい字体となっている。 (2)分かりやすい。 ・表紙や学習のポイントを示している挿絵のイラストキャラクターが、6年間通して同じなため統一性があり親しみもてる。 ・鑑賞曲の図形楽譜は扱っている曲をイメージしやすく、曲の構成に気づく手がかりとしても分かりやすい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくするための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮されている。 ・楽譜ページの表記がすっきりしており、児童の能力に応じた指導の工夫がしやすい。 ・各ページの情報量が多過ぎず、指導する際に教師側の工夫の幅が広がる。 (2)配慮されている。 ・要所要所に二次元コードがついており、資料等を見ることができる。 (3)配慮している。 ・地域の音楽について様々な地域のものを取り上げられている。</p>	<p>(1)配慮されている。 ・単元の大きな目標の下に、各教材(各領域)ごとの学習のめあてが書かれており、学級担任が授業をする際にも分かりやすい。 (2)配慮されている。 ・ほとんどすべての教材に二次元コードがついており、旋律等を聴くことができる。 (3)配慮している。 ・二次元コードで全国の祭り等について説明をみることができる。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>・どの学年にも1～2曲の英語の歌が掲載されている。 ・音楽づくりと鑑賞・歌唱・器楽曲を関連づけて教材化していることで、音楽をかたち作っており様々な要素の理解が深まる。</p>	<p>・表紙の絵に様々な国の子供たち描かれていて、多様性を意識することができる。 ・歌唱「さくらさくら」から、器楽(箏曲演奏)や箏の音階を生かした音楽づくりの活動にも関連付けて教材化されている。</p>

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 図画工作 1/1枚目

調査の観点	発行者名 開隆堂	日本文教出版
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)各題材において「知識及び技能」「思考力、判断力、表現等」「学びに向う力、人間性等」の3つの目標が学習のめあてとして具体的に分かりやすくなるよう「くふうさん」、「ひらめきさん」、「こころさん」の3つのキャラクターを用いて示している。 (2)各学年ともに材料や用具、発想や構想、楽しく豊かな生活を創造するための配慮をしている。また、児童の発達段階に対して配慮している。 ・活動している児童の写真は、顔のアップを取り入れながら、「夢中になっている場面」、「考えている場面」、等、シチュエーションに応じて、場にふさわしい表情をしている。マスクをしている写真はない。 ・必要に応じて「安全」というコーナーがあり、また巻末に「学びのしりょう 用具や材料を知ろう」というページがあり、発達段階に応じた安全に対する配慮がされている。 ・「小さな美じゅつ館」という鑑賞のページがあり、作家による名作だけでなく児童の作品も掲載することで、表現と鑑賞の関連が図られている。</p>	<p>(1)各題材で「知識及び技能」「思考力、判断力、表現等」「学びに向う力、人間性等」の3つの目標が学習のめあてとして児童にも分かりやすくなるよう「手」、「電球」、「笑顔」のマークで示している。 (2)各学年ともに材料や用具、発想や構想、楽しく豊かな生活を創造するための配慮をしている。また、児童の発達段階に対して配慮している。 ・楽しそうに活動している児童の写真が多い。児童の姿が自然である。マスクをしている写真も多く、リアリティがある。 ・3・4年下でのこぎりで木を切る活動を取り入れ、5・6年下ではのこぎりに加えて電動糸のこぎりをを使う活動を取り入れる等、発達段階に配慮している。 ・必要に応じて「気をつけよう」というコーナーがあり、また巻末に「ざいりょうと用具のひきだし」というページがあり、発達段階に応じた安全に対する配慮がされている。 ・巻末に「アートカード」というページがあり、楽しみながら鑑賞でき、また表現活動の中で活用でき、表現と鑑賞の関連が図られている。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮されている ・1年間の学びを見通せるページが巻頭にあり、題材の内容(絵、立体等)をマークで色分けして表示し分かりやすく工夫されている。 ・タブレット端末で二次元コードを読み取ることにより、どの題材でも導入から学習活動、振り返りまでパターン化し掲載しているため、児童が見通しをもち主体的に学ぶことができる。 (2)配慮されている ・各領域の分量は適切である。 ・題材により二次元コードで読み取る鑑賞シートを用意しており、対話的な学びに役立つものとなっている。 ・写真を効果的に活用し、発達に合わせた構成がされている。</p>	<p>(1)配慮されている ・材料や用具からひらめく自分の思いや感覚を通した学びを大切にしたい題材構成となっており、主体的・対話的で深い学びの実現をねらっている。 ・各題材での材料や用具の使い方、その他沢山の作品紹介を行い、児童の学びを広げ深めるための手がかりとすることができる。 (2)配慮されている ・各領域の分量は適切である。 ・各題材の中に鑑賞活動が組み込まれており、表現と鑑賞の一体化が図られている。 ・写真を効果的に活用し、発達に合わせた構成がされている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)児童にとって読みやすい表現である。 ・授業に即した工夫や児童が感じることを吹き出しで表し、児童にとって読みやすく、また発想等の手助けとなっている。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、分かりやすく、児童の興味・関心を高めることができる。 ・巻頭に、一年間に学ぶ題材について制作中の児童の様子の写真が掲載されており、見通しを持ちやすい。 ・全ページを通して同じ配置で「学習のめあて」を示すとともに、特に重点を置くめあてが赤字になっていて分かりやすい。また、同じ配置で用具等をイラストで示しており、分かりやすい。 ・各題材の補足説明として、巻末に「学びのしりょう 用具や材料を知ろう」のページがあり、用具の取り扱いや、材料の特徴を知ることができる。 ・掲載されている二次元コードを読み取ると、題材の解説動画等を見ることができる。</p>	<p>(1)児童にとって読みやすい表現である。 ・授業に即した工夫や児童が感じることを吹き出しで表し、児童にとって読みやすく、また発想等の手助けとなっている。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等は見やすく、分かりやすく、児童の興味・関心を高めることができる。 ・全ページを通して同じ配置で「学習のめあて」を示しており理解しやすい。また、同じ配置で用具等をイラストで示しており、分かりやすい。 ・各題材の補足説明として、巻末に「材料と用具の引き出し」のページがあり、用具の取り扱いや、材料の特徴を知ることができる。 ・掲載されている二次元コードを読み取ると、題材の解説動画等を見ることができる。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮されている。 ・学習で使う主な材料や用具を題材毎に載せ、準備に役立つ。学習のめあての重点を赤字で示してあり、分かりやすい。 (2)配慮されている ・二次元コードにより、家庭でも作品の作り方や用具等について学ぶことができる。 (3)配慮している 「みんなのギャラリー」「つながる造形」等のページで日本や世界の様々な作家、地域、ジャンルの作品が紹介されている。</p>	<p>(1)配慮されている。 ・学習で使う主な材料や用具を題材毎に載せ、準備に役立つ。また、「思い出そう 表し方のくふう」等、これまで学習したこととの関連が分かりやすく工夫されている。 (2)配慮されている。 ・二次元コードにより、家庭でも作品の作り方や用具等について学ぶことができる。 ・ICTを活用した「オンライン美術館に行こう」というページがあり、家庭でも鑑賞を楽しむことができる。 (3)配慮している 「教科書美術館」をはじめ各題材のページの中でも、日本や世界の様々な作家、地域、ジャンルの作品が紹介されている。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>・他教科との横断的な学びが「あわせてまなぼう」として掲載され、より深い学びを進めることができる。 ・電子ブロックを使った、プログラミングを生かした作品を取り扱っているほか、タブレット端末を使って鑑賞したり調べたりする活動を取り扱っている。 ・「つながる造形」「みんなのギャラリー」「未来へつながる図画工作」等、図画工作をもっと楽しむための工夫や将来へつなげていくための工夫がされている。</p>	<p>・他教科との横断的な学びが「つながる学び」として掲載され、より深い学びを進めることができる。 ・何度もつくりかえるというプログラミングの要素を取り入れた活動をはじめ、「ICTでチャレンジ」等、プログラミングを取り入れた活動を取り扱っている。 ・「教科書じゅつかん」「図工のみかた」「広がる図工」等、図画工作をもっと楽しむための工夫や将来へつなげていくための工夫がされている。</p>

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 家庭 1/1枚目

発行名 調査の観点	東京書籍	開隆堂
<p>1 内容</p> <p>(1) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。</p> <p>(2) 児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) ・学習指導要領の「家庭科の目標および内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に従い、基礎的・基本的事項を適切に取り上げている。 ・初めに家庭科の見方・考え方の4つの視点を「家庭科の窓」で示し、題材の初めに「見方・考え方」に気付かせる工夫がある。 ・3つのステップ(課題発見/課題解決・実践活動/評価・改善)がくり返される学びの仕組みになっている。</p> <p>(2) ・基礎的・基本的な内容から応用へと児童の発達に応じて系統的に配列している。基礎技能は「いつも確かめよう」として、5年生で学んだ技能を6年生で再度使うことで、より確実な定着を図っている。 ・5年生最初の調理実習では、湯をわかしてお茶を入れる題材でガスコンロの安全な使い方を学び、次の「ゆでる調理」で調理の基本的な手順を確認して基礎・基本の定着を図っている。 ・ガイダンスとして、誕生から中学生までの見通しと4年生までの学習との関連を示している。 ・巻頭に「成長の記録」、途中に「5年生のまとめ」、巻末に「2年間のまとめ」を配置し学習の振り返りができる。 ・2年間の指導計画を見開きで見通せるようになっている。</p>	<p>(1) ・学習指導要領の「家庭科の目標および内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に従い、基礎的・基本的事項を適切に取り上げている。 ・初めに生活にかかわる見方・考え方の4つの視点をクローバーで示し、途中ページでも「見方・考え方」に気付かせる工夫がある。 ・3つのステップ(課題発見/課題解決・実践/評価・改善)がくり返される学びの仕組みになっている。</p> <p>(2) ・基礎的・基本的な知識や技能に関する内容から応用へとの確に記述されている。基礎技能は巻末に掲載している。 ・5年生最初の調理実習では、湯をわかしてお茶を入れる題材でガスコンロの安全な使い方や調理の基本的な流れを学び、イラストや写真から調理の基礎・基本の定着を図っている。 ・ガイダンスとして、誕生から中学生までの見通しと4年生までの学習との関連を細かく示している。 ・巻末に「2年間の振り返り」を配置し、中学校への学びのつながりを示している。 (小学校の家庭科と中学校の家庭・技術分野のつながりが一目で分かるページがある。) ・2年間の指導計画を見開きで見通せるようになっている。</p>
<p>2 構成上の工夫</p> <p>(1) 重点調査項目 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。</p> <p>(2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1) ・主体的・対話的な深い学びを実現する (「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで展開) ・学びに寄り添うキャラクター「トリー」「イエティ」個々の主体性を尊重して興味・関心を問いかけ、学習への意欲を高める配慮がされている。 ・生活の課題と実践を「生活をかえるチャンス」として、5つのステップで示している。 (課題の設定、計画、実践、まとめ・発展、評価・改善) ・3つのステップに合わせた学習用コンテンツがある。二次元コードはページ右上に表示。</p> <p>(2) ・分量は、A4判で149ページ、5年生8単元、6年生7単元で、計15単元。 ・「生活を変えるチャンス」のコーナーは、自分の生活をよりよく変える実践について紹介し、内容や分量は児童の発達段階を考慮している。 ・調理実習や製作等の一つ一つの作業が写真とともに細かく書かれていて、1ページの情報量が豊富である。</p>	<p>(1) ・主体的・対話的な深い学びを実現する (「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップで展開) ・学びに寄り添うキャラクター「クローバー」「カラフルうさぎ」が、個々の主体性を尊重して興味・関心を問いかけ、学習への意欲を高める配慮がされている。 ・生活の中から課題を見つけて取り組む「生活の課題と実践」への取り組みが5つのステップで示している。 (課題を決める・計画を立てる・実践する・実践を振り返る・実践の評価と改善策) ・3つのステップに合わせた学習用コンテンツがある。二次元コードはページ右上に表示。</p> <p>(2) ・分量はA4判で、153ページ、5年生11単元、6年生9単元、計20単元。 ・基礎・基本を着実に身に付けるスモールステップで、「できる」という自信をもって自らの生活課題に取り組む力を養うようになっている。 ・調理実習や制作の実習ページの写真が豊富で、流れが分かりやすくまとめられている。1ページの情報量が適切で、必要な情報がまとまっている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。</p> <p>(1) 児童にとって読みやすい表現であるか。</p> <p>(2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1) ・専門的な用語はあまり使用せず、「メモ」として脚注などで「メモ」として補足説明をしている。 ・量や状態を表す言葉が具体的である。</p> <p>(2) ・UDフォント教科書体を使用し、タイトルの字間があり、ユニバーサルカラーデザインを取り入れ、文字が大きく見やすく作られている。 ・右利き・左利きの児童どちらへの配慮もされている。動画資料もあり。 ・イラストや写真、挿絵などが大きくとも見やすい。多様性やジェンダーにも配慮されている。 ・「ゆでる調理」では、ゆで時間による比較が写真や時間で詳しく紹介されている。 ・「いつも確かめよう」に野菜の12種類の切り方の写真がある。 ・食品の6つのグループ分けのカラー図が、裏表紙内側にあり、見やすく分かりやすい。</p>	<p>(1) ・専門的な用語も合わせて示し、イラストや写真による説明がある。 ・量や状態を表す言葉に専門的な用語が使われている。</p> <p>(2) ・UDフォント教科書体を使用し、ユニバーサルカラーデザインを取り入れ、見やすく作られている。 ・右利き・左利きの児童どちらへの配慮もされている。動画資料もあり。 ・イラストや写真、挿絵などが大きくとも見やすい。多様性やジェンダーにも配慮されている。 ・「ゆでる調理」では、ゆで方の比較が写真や時間で紹介されている。 ・裏表紙に野菜の9種類の切り方の写真があり、児童が日頃から見慣れることができる。 ・食品の6つのグループ分けのカラー図が、裏表紙内側の見開きページの内側にある。</p>
<p>4 使用上の便宜</p> <p>(1) 教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。</p> <p>(2) 児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。</p> <p>(3) 地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) ・巻末の、食材の切り方などの写真が、大きく見やすくなっている。 ・写真・イラスト・動画コンテンツが分かりやすく、実際の動きを何度も見ることができる。 ・各題材の初めに写真があり、学習に興味をもたせることができる。</p> <p>(2) ・「まかせてね今日の食事」では、日々の備えとしていくつかの料理が紹介されているのが、とても工夫されている。 ・ガスコンロの他、IHクッキングヒーターについてもイラストで詳しく説明している。 ・安全情報が細かく丁寧に、図や写真で示されている。 ・調理の「材料と分量」と「必要な用具や食器」が示されている。</p> <p>(3) ・特に配慮は見られない。(日本の各地域の伝統料理や文化を紹介している。)</p>	<p>(1) ・教科書の裏に食材の切り方や、定規の目盛りがついており、使いやすい工夫がされている。 (28cmのスケールが印刷されており、すぐに長さの見当をイメージしたいときに便利である。) ・写真・イラスト・動画コンテンツが分かりやすく、実際の動きを何度も見ることができる。 ・各題材の初めにフォトランゲージがあり、興味をもたせて児童の気づきを記入できるようなスペースがある。</p> <p>(2) ・児童が学習後に、チャレンジできるメニューが掲載されているので、家庭学習に生かすことができる。 ・IHクッキングヒーターについてはガスコンロと分けて、別のページでイラストで紹介している。 ・安全情報が、図や写真で示されている。 ・調理の「材料と分量」が示されている。</p> <p>(3) ・特に配慮は見られない。(日本の各地域の伝統料理や文化を紹介している。)</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>・感染症対策に関わる衛生面の注意点が示されている。 ・各題材の中で「環境」マークで示している。 ・軽量の紙を使用している。</p>	<p>・一般的な衛生面の注意点が示されている。 ・SDGsの視点から、環境に関する題材も扱うほか、各題材の中でも「環境」マークで多く示している。</p>

種目 保健 1/1枚目

調査の観点	発行者名 東京書籍	大日本図書	大修館書店	文教社	光文書院	Gakken
1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。	(1)学習指導要領 ・気付きや発見をもとに学習の課題を見だし、その後の課題解決が深まるよう学習の流れが工夫されている。 (2)児童の発達段階 ・単元ごとに他学年や他教科との関連が明記され、日常的に健康な生活を目指す工夫がされている。 ・動画コンテンツが充実している。 ・思春期の体の変化において、グラフ等の中で成長の遅い子への配慮がされている。 ・発展的な内容として、1単位時間の最後に、資料を用意している。	(1)学習指導要領 ・毎時間「つかもう」が設定されていて身近な生活の中から課題をつかみ、その後の課題解決が深まるよう工夫している。 (2)児童の発達段階 ・親しみやすいイラストが多く使われ、見通しをもって学習しやすいように工夫している。 ・動画コンテンツが充実している。 ・発展的な内容として、1単位時間の最後に、「もっと知りたい」を用意している。	(1)学習指導要領 ・毎時間「課題をつかもう」が設定されていて身近な生活の中から課題をつかみ、その後の課題解決が深まるよう工夫している。 (2)児童の発達段階 ・毎時間のまとめで記述する欄があり、その後の日々の生活に生かせるよう工夫している。 ・思春期の体の変化において、成長の個人差に配慮されている。 ・動画コンテンツが充実している。 ・発展的な内容として、1単位時間の最後に、「もっと学びを広げよう、深めよう」を用意している。	(1)学習指導要領 ・学習内容に対する発問をmissionで提示し、見直しをもって課題解決的な学習できるよう工夫している。 (2)児童の発達段階 ・学習に関連する内容を「エピソード」「もっと考えよう課」等で紹介し、健康な生活を目指す工夫がされている。 ・動画コンテンツが充実している。 ・発展的な内容として、1単位時間の最後に、「もっと考えよう課」を用意している。	(1)学習指導要領 ・学習活動ごとに発問が明記され、児童が課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を身に付けやすいように工夫している。 (2)児童の発達段階 ・見開き1ページでまとめられている単元が多く、見直しをもって学習できるよう工夫している。 ・動画コンテンツが充実している。 ・思春期の体の変化において、成長の個人差に配慮されている。 ・発展的な内容として、1単位時間の最後に、「広げよう、深めよう」を用意している。	(1)学習指導要領 ・「学習の課題」が問いで示され、内容に応じた知識や技能と課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を中心に構成されている。 (2)児童の発達段階 ・単元ごとに他学年や他教科との関連が明記され、日常的に健康な生活を目指す工夫がされている。 ・毎時間3つの学習の流れに沿って編成され、課題解決する過程を通して、内容を習得しやすくなるよう工夫している。 ・発展的な内容として、1単位時間の最後に、「もっと知りたい、調べたい」を用意している。
2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。	(1)「主体的・対話的で深い学び」 ◇気づく・見つける→調べる・解決する→深める・伝える→まとめる・生かすという教科書で一貫した学び方が示されている。主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮した構成である。 (2)各領域の分量 ・小単元で見開きになるよう構成されている。学習の分量は適当である。児童が書き込みをして、理解を深める仕組みとなっている。	(1)「主体的・対話的で深い学び」 ◇つかもう→調べよう→話し合おう→活かそう ◇つかもう→調べよう→考えよう→活かそう ◇課題をつかもう→話し合おう→調べよう→まとめ「生かそう伝えよう」 ◇課題をつかもう→考えよう→調べよう→まとめ「生かそう伝えよう」といったように、各小単元ごとに学び方が示されている。主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮した構成である。 (2)各領域の分量 小単元で見開きになるよう構成されている。学習の分量は適当である。児童が書き込みをして、理解を深める仕組みとなっている。	(1)「主体的・対話的で深い学び」 ◇課題をつかもう→話し合おう→調べよう→まとめ「生かそう伝えよう」 ◇課題をつかもう→考えよう→調べよう→まとめ「生かそう伝えよう」といったように、各小単元ごとに学び方が示されている。主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮した構成である。 (2)各領域の分量 ・小単元で見開きになるよう構成されている。学習の分量は適当である。児童が書き込みをして、理解を深める仕組みとなっている。	(1)「主体的・対話的で深い学び」 ◇mission1→mission2、 ◇stage1→stage2 などとして学習活動が示され、主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮した構成である。 (2)各領域の分量 ・分量は適当である。児童が簡易な書き込みをして、理解を深める仕組みとなっている。	(1)「主体的・対話的で深い学び」 ◇見つけよう→調べよう→話し合おう→生かそう ◇見つけよう→考えよう→調べよう→生かそう ◇見つけよう→考えよう→調べよう→生かそう といった学び方が示されている。主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮した構成である。 (2)各領域の分量 ・小単元で見開きになるよう構成されている。学習の分量は適当である。児童が書き込みをして、理解を深める仕組みとなっている。	(1)「主体的・対話的で深い学び」 ◇読み取る→話し合おう→学びを生かす ◇くらべる→話し合う整理する→学びを生かす ◇調べる→けいけんを振り返る→学びを生かす といったように、各小単元ごとに図で学び方の見通しが示されている。主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮した構成である。 (2)各領域の分量 ・小単元で見開きになるよう構成されている。学習の分量は適当である。児童が書き込みをして、理解を深める仕組みとなっている。
3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。	(1)読みやすさ ・青系を基調に、学習課題は背景を黄色にしてあり色覚特性に適應するデザインになっていた。ユニバーサルデザインフォントや色使い等、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・文字は大きめであり、情報が簡潔にまとめられている。 ・文節の切れ目で改行してあることが多く、読みやすい。 ・大事な部分が太字になって強調されており、注視しやすい。 (2)見やすさ、分かりやすさ ・写真、図、イラスト等の占める割合が多く、視覚的にも理解しやすい。 ・文と写真等が入り組んでおらず、見やすい配置になっている。 ・挿絵が過多でなく、サイズも大き過ぎずに丁度良い。	(1)読みやすさ ・学習の流れが背景が黄色で文字は黒で書かれているので、見やすくなっていた。ユニバーサルデザインフォントや色使い等、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・文節の切れ目で改行してあることが多く、読みやすい。 ・大事な部分が太字になっており、注視しやすい。 (2)見やすさ、分かりやすさ ・写真、図、イラスト等の占める割合が多く、視覚的にも理解しやすい。 ・余白と色分けで区別され、本文と資料が見やすく分けられている。 ・写真や挿絵、グラフが多く、児童の興味を引きやすいつくりになっている。	(1)読みやすさ ・課題が赤で白抜きになっているので見やすくなっていた。ユニバーサルデザインフォントや色使い等、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・文節の切れ目で改行してあることが多く、読みやすい。 ・大事な部分が太字になっており、注視しやすい。 (2)見やすさ、分かりやすさ ・写真、イラストが大きく表示してあり、視覚的にも理解しやすい。 ・余白と色分けで区別され、本文と資料が見やすく分けられている。 ・写真や挿絵、グラフが多く、児童の興味を引きやすいつくりになっている。	(1)読みやすさ ・背景が緑で白抜きの文字になっている等、カラーバリエーションを含め、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・情報を吹き出しで子供のセリフ等に分けるなど、内容を理解しやすいように細かく区切っている。 ・大事な部分が太字になっており、注視しやすい。 (2)見やすさ、分かりやすさ ・イラストが多く吹き出し等を使い、視覚的にも理解しやすい。 ・区切り線や色分けを効果的に使い、見やすくなっている。 ・写真、挿絵やグラフが多く、児童の興味を引きやすいつくりになっている。	(1)読みやすさ ・学習課題が濃い緑色に白抜きになっている等、ユニバーサルデザインフォントやカラーバリエーションを含め、ユニバーサルデザインに配慮してある。 ・文節の切れ目で改行してあることが多く、読みやすい。 ・大事な部分が太字になっており、注視しやすい。 (2)見やすさ、分かりやすさ ・写真、図、イラスト等の占める割合が多く、視覚的にも理解しやすい。 ・文や資料の間に、余白、ライン、色分け等がされており見やすい。 ・写真、挿絵やグラフが多く、児童の興味を引きやすいつくりになっている。	(1)読みやすさ ・文字が大きめに書かれていたり、白地に黒い文字を使ったりする等、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮してある。 ・児童にとって無理のない表現で文が書かれている。 ・大事な部分が太字になっており、注視しやすい。 (2)見やすさ、分かりやすさ ・写真、イラスト等が大きく掲載されているページがあり、見やすい。 ・余白が十分にあり、文や写真等が入り組んでおらず、すっきりとしたレイアウトで見やすい。
4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。	(1)教員の使いやすさ ・学習の進め方が統一されており、一定の流れで授業を展開しやすい。 ・各項目末で、知識の定着や今後の生活への活用を促しやすい。 (2)家庭学習の配慮 ・二次元コードを載せ、様々なコンテンツを利用することで、視覚的な理解を促し、学習の定着を図っている。外部サイトから動画を視聴でき、児童の興味関心を引く内容である。冒頭の二次元コードからは保健と関連付けてSDGsについて深く調べられる資料が整えられている。 ・児童が調べ学習を行いやすいようにしており、学習理解の定着を図れる。 (3)地域性への配慮 ・各資料は、地域に偏りが出ないように配慮している。	(1)教員の使いやすさ ・学習の進め方が統一されており、一定の流れで授業を展開しやすい。 ・見開きで内容が整理されており、一単位時間の学習の流れが分かりやすくなっている。 (2)家庭学習の配慮 ・二次元コードを載せ、視覚的な理解を促し、学習の定着を図れる。リンク先の目次が見やすく、動画が軽いため手軽に素早く視聴することができる。 ・各項目末で、学習の定着や今後の生活への活用が充実しており、主体的に学習を行えるようにしている。 (3)地域性への配慮 ・各資料は、地域に偏りが出ないように配慮している。	(1)教員の使いやすさ ・学習の進め方が統一されており、一定の流れで授業を展開しやすい。 ・各項目末で、児童の記入欄を多くすることで、思考を促し、知識の定着を図っている。 (2)家庭学習の配慮 ・二次元コードを載せ、視覚的な理解を促し、学習の定着を図れる。リンク先の目次が見やすく、動画が軽いため手軽に素早く視聴することができる。 ・各項目末で、学習の定着や今後の生活への活用が充実しており、主体的に学習を行えるようにしている。 (3)地域性への配慮 ・各資料は、地域に偏りが出ないように配慮している。	(1)教員の使いやすさ ・学習の進め方が統一されており、一定の流れで授業を展開しやすい。 ・見開きで内容が整理されており、挿絵や写真で補助することで、一単位時間の流れが明確になっている。 (2)家庭学習の配慮 ・二次元コードを載せ、視覚的な理解を促し、学習の定着を図れる。資料や動画の種類が精選されており、見たいものを探す手間が少なく素早く視聴できる。 ・児童が調べ学習を行いやすいようにしており、学習理解の定着を図れる。 (3)地域性への配慮 ・各資料は、地域に偏りが出ないように配慮している。	(1)教員の使いやすさ ・学習の進め方が統一されており、一定の流れで授業を展開しやすい。 ・見開きで内容が整理されており、一単位時間の学習の流れが分かりやすい。 (2)家庭学習の配慮 ・二次元コードを載せ、視覚的な理解を促し、学習の定着を図れる。オリンピックのインタビュー等も動画で視聴でき、児童が興味をもちやすい工夫がされている。 ・児童が調べ学習を行いやすいようにしており、学習理解の定着を図れる。 (3)地域性への配慮 ・各資料は、地域に偏りが出ないように配慮している。	(1)教員の使いやすさ ・学習の進め方が統一されており、一定の流れで授業を展開しやすい。 ・考え、話し合い、学びを生かすのサイクルが分かりやすく、指導しやすい。 ・二次元コードでワークシートが掲載されているので、活用しやすい。 (2)家庭学習の配慮 ・各項目末で、学んだことを生かし、学習内容のさらなる探求を促している。 ・二次元コードを載せ、視覚的な理解を促し、学習の定着を図れる。リンク先のページが単元ごとに見やすく掲載されている。 (3)地域性への配慮 ・各資料は、地域に偏りが出ないように配慮している。
5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。	・書き込みながら学習できるように工夫されている。 ・動画やアニメーション、シミュレーション、ワークシートなど多くのデジタルコンテンツが掲載されている。	・発展でSDGsと関連させている。 ・他教科との関連を示している。 ・楽しい保健の二次元コードが掲載されている。	・発展でSDGsと関連させている。 ・二次元コードで保健クイズが掲載されている。	・写真が大きくて見やすい	・発展でSDGsと関連させている。	・保健の箱というコラムを掲載している。 ・単元の初めに他教科との関連を示し、二次元コードで外部のデジタルコンテンツにリンクしている。

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 英語 1/2枚目						
調査の観点	東京書籍	開隆堂	三省堂	教育出版	光村図書	啓林館
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元ごとに身に付けたい力を明確に示している。 ・目的・場面・状況に配慮した構成になっている。 (2)児童の発達段階に配慮している。 ・児童の興味・関心が持続するようなストーリー形式で各unitが設定されている。 ・「Your Plan」により、単元構成ごとのスモールステップを示している。 ・情報は豊富。 ・日本語での説明が多く書かれている。 ・別冊 (picture dictionary) があり、児童が閲覧しやすい。 【中学教員より】 ・小学校での学ぶ情報量が豊富。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元ごとに身に付けたい力を明確に示している。 ・評価の観点が各Activityにマークで示してあり分かりやすい。 (2)児童の発達段階に配慮している。 ・単元のゴールまでが一目で分かりやすい構成になっている。 ・単元ごとのゴールが明確に示されている。 ・情報は豊富。ゴール設定は高い。 ・別冊 (Word book) があり、児童が閲覧しやすい。 【中学教員より】 ・小学校での学ぶ情報量が豊富。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元ごとに身に付けたい力を明確に示している。 ・中学年の学習との繋がりがや中学校との接続が円滑にいくような内容になっている。 (2)児童の発達段階に配慮している。 ・単元のゴールまでが一目で分かりやすい構成になっている。 ・学びの見通しが「HOP・STEP・JUMP」で見える化されている。 ・たくさんさんの会話が用意されている。ゴール設定は高い。 ・別冊 (My dictionary) があり、児童が閲覧しやすい。 【中学教員より】 ・小学校で触れた単語の扱いが、中学校1年時に、学んだ(覚えている)単語として扱われている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元ごとに身に付けたい力を明確に示している。 ・各LESSONのめあてと振り返りがシンプルで分かりやすい構成になっている。 (2)児童の発達段階に配慮している。 ・各単元に扱いやすいワークシートやシールが充実している。Unit形式ではなく各LESSON毎の配列になっている。シンプルだが児童にとって分かりやすい構成になっている。 ・発達段階に即して興味をもちやすい題材を取り上げている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・「到達目標を「CAN-DO」で設定しており、学年でできるようにすることを明確に示している。 ・「HOP・STEP・JUMP」で見える化構成されており、学習の進捗を児童自身が把握しやすい。3・4年と5・6年のつながりを意識している。 ・アルファベットの読み書きが児童の意欲を大切にしながら段階を追って丁寧に示している。 ・別冊 (picture dictionary) があり、児童が閲覧しやすい。</p>	<p>(1)配慮している。 ・単元ごとに身に付けたい力を明確に示している。 ・中学年の学習との繋がりがや中学校との接続が円滑にいくような内容になっている。 (2)児童の発達段階に配慮している。 ・日本地図・世界地図が大きく表示されていて見やすい。 ・情報は豊富。 ・コミュニケーションに大切なことを考える活動を取り扱っている。 【中学教員より】 ・小学校での学ぶ情報量が豊富。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・Let's Tryでは、ペアやグループで助け合いながら進める活動がunitごとに設定されており、協働的な学びにつながる工夫がされている。 ・コミュニケーション活動が充実しており、各Unitごとに対話的な学びにつながる工夫がされている。 ・なじみのあるイラストで子どもたちの興味をひく教材となっている。また、イラストから会話を想像しやすく、場面理解につながる工夫となっている。 ・身近なことから世界に目を向けられるような展開になっており、児童の興味・関心を深める工夫がされている。 (2)配慮している。 Unitの始めのページは、動画に合わせたイラストが順に並び、動画を見た後に、どんな内容だったか振り返りやすい工夫がされている。 ・文字指導もスモールステップを踏んだ構成となっている。 ・各Unitごとに、書く、読むの練習ページがあり、段階を踏んで十分に練習できる構成になっている。 ・二次元コードを用いた音声や映像教材が充実しており、児童自身が学びをすすめる手助けとなる教材になっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・ペアやグループでたずねたり、答えたりするキーセンテンスが明記されており、対話をしやすい工夫となっている。 ・ペアワークやグループワークの活動が多く設定されており、児童同士がやり取りをできる工夫がされている。 ・スピーチ等、相手に伝える活動があり、児童が主体的に活動しやすい構成となっている。 ・英語ばかりではなく、日本語で場面の説明や活動の仕方が示されており、子どもの理解の支えとなっている。また、構成も子どもたちが主体的に活動しやすいものとなっている。 (2)配慮している。 ・イラストを選んで印を付けたり、選んだりできる活動内容のものが多く、発達段階に合わせて取り組みやすい工夫がされている。 ・書き込みスペースが、適量である。 ・身に付けさせたい技能が表示されており、児童自身も意識して取り組めるようになっている。 ・二次元コードを用いた音声や映像教材が充実しており、児童自身が学びをすすめる手助けとなる教材になっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・対話的な活動では、活動の仕方がイラストや写真が例として挙げられて表されているため、活動の仕方の理解につながりやすく主体的に活動できる手立てとなっている。 ・Let's Listenでは、聞こえた言葉は何か考える際、子どもたちが主体的に活動できるように答えを見つけやすい工夫がされている。 ・聞く活動が充実しており、音声に慣れ親しむことができる工夫がされている。 ・イラストやキャラクターには、様々な表現のものが使われている。 ・聞く活動から、対話への活動へつながりがあり、互いに伝え合う活動を通して、共同的な学びを深められる工夫がされている。 (2)配慮している。 ・Unitごとに学習内容(多くのキーセンテンス)をアニメーションで確認でき、単語や表現をインプットし、「聞く」「話す」へのアウトプットへと移行するステップが発達段階に合わせたものとなっている。 ・発達段階に応じて、聞く活動が十分あり、ステップアップしている。 ・二次元コードを用いた音声や映像教材が充実しており、児童自身が学びをすすめる手助けとなる教材になっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・伝える、たずねる活動が多く設定されており、主体的で対話的な学びを深める工夫がされている。 ・グループでの活動や紹介する活動が設定されており、共同的な学びにつながる工夫がされている。 ・子どもたちが理解しやすく取り組みやすいアクティビティがイラストや言葉で説明されており、主体的・対話的な深い学びにつながる工夫となっている。 ・他教科と関連する教材や最近の出来事が使われており、児童が主体的に学びに向かう工夫がされている。 (2)配慮している。 ・イラストを選んで印を付けるなどの活動内容が多く、発達段階に合わせて取り組みやすい工夫がされている。 ・Unitごとの振り返りは、次の学習内容生かすことができる内容のものとなっている。 ・書き込みスペースが、適量である。 ・Unitごとに書く、読む、聞くの練習があり、どの領域も定着を確認し、次の学習へつなげられる工夫がされている。 ・二次元コードを用いた音声や映像教材が充実しており、児童自身が学びをすすめる手助けとなる教材になっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・既習表現や語句を活用して自分の考えや気持ちを伝え合うことができる活動が随所に設定されており、児童が安心して主体的に学習できる配慮がされている。 ・児童同士のやりとりの活動が多く、対話的な活動が行いやすい工夫がされている。また、そこから互いに学びを深められるよう配慮されている。 ・親しみのある統一感のあるキャラクターとアニメーションで、視聴後内容について自然と対話が生まれる工夫がある。 ・世界の国についてふれたり、知ったりする題材が多く設定されており、児童が身近なことから世界に目を向けられるような工夫がされている。 (2)配慮している。 ・シンプルな見開きページ(1つ程度のキーセンテンス)で1時間の授業を進めることができ、学習の流れと合わせて児童が教科書を使用でき、児童が迷わず学習を行うことができるよう配慮されている。 ・各領域が、年間通してバランスよく配置されている。文字を書く学習は、段階を追って学習できるようになっており、また分量も負担にならない量となっている。 ・各領域バランスよく配置されており、観点を示すことで、児童自身も意識して学習をすすめる手助けとなる教材になっている。 ・二次元コードを用いた音声や映像教材が充実しており、児童自身が学びをすすめる手助けとなる教材になっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・コミュニケーションに大切な話の仕方・聞き方の工夫や簡単な会話のやりとりなどを見開きページで紹介しているため、対話をしやすい配慮がされている。 ・単元ごとのActivityでは、ペアやグループで話し合ったり、たずねあったりして作業を進める活動の設定がされている。 ・児童同士で対話しやすいように題材設定が工夫されている。 ・お互いにやり取りをしたり、たずねあったりする活動が多く、対話的な学びへつながる工夫がされている。 ・イラストやキャラクターには、様々な表現のものが使われている。 (2)配慮している。 ・A4サイズの教科書なので、視覚的に学習箇所を見分けやすい配慮がされている。また、ノートの代わりに、文字を書く際にも書きやすい。 ・活動内容が主に4つ程度のため、テンポよく無理なく学習できる。 ・どの領域も、発達段階に応じた内容であるが、特に書く活動が充実している。そのまま書きこめるようになっている。 ・二次元コードを用いた音声や映像教材が充実しており、児童自身が学びをすすめる手助けとなる教材になっている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)UDフォントで書かれている。シンプルな誌面である。なぞり書きではなく、児童が自分で英文を書く場所が多い。 (1)読みやすい表現である。 ・読みやすい書体で書かれている。 (2)実際の海外の写真が多く使用されている。やわらかい色合いのイラストが多い。 ・写真や挿絵のサイズが大きくて見やすい。</p>	<p>(1)UDフォントで書かれていて、読みやすい。1ページに書かれている分量が豊富である。 (1)読みやすい表現である。 ・読みやすい書体で書かれている。 (2)挿絵やイラストが多く、見やすい。色合いも目に優しい。 ・写真や挿絵がたくさん使われており、情報量が豊富である。</p>	<p>(1)あまり文字が太くないので、すっきりとした印象を受け、見やすい。 (1)読みやすい表現である。 ・項目が統一されており読みやすい。 ・簡潔に書かれており読みやすい。 (2)比較的是っきりとした色合いの誌面であるという印象を受けた。 ・挿絵の色が薄くて見やすい。(UDカラー) ・写真が鮮明で見やすい。</p>	<p>(1)UDフォント使用、文字は小さい、英文自体の記載が非常に少ない。 (1)読みやすい表現である。 ・指示や問いが簡潔で読みやすい。 ・各項目の枠や、その下の関連挿絵の背景の色が統一されており、読みやすい。 (2)イラストがポップではっきりとした色合いである。 ・写真や挿絵の色が落ちており見やすい。</p>	<p>(1)UDフォント使用、本教科書用に考えられた書体だそうなので、見やすいように配慮してある。 (1)読みやすい表現である。 ・項目の色づかいがシンプルで読みやすい。 ・文が簡潔に書かれており読みやすい。 (2)イラストの色合いも見やすい。 ・写真や挿絵がシンプル且つやさしい雰囲気で見やすい。写真が多くイメージにつながる。</p>	<p>(1)UDフォントで見やすいだけでなく、欧文用のUD体なので、RやKが少ない画数で書けるように配慮されている。 4線の幅も、大文字を書いても小文字を書いても違和感のない幅に設定されている。 (1)読みやすい表現である。 ・行間にゆとりがあり、文字が読みやすい。 (2)イラスト・写真がバランスよく使われており、見やすい。柔らかな色合いである。 ・イラストや背景に落ち着いた色が使われており見やすい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)学習の流れが分かりやすく、順を追って学習がステップアップできるようになっている。 (2)日本語、英語ともに書き込む欄が多くなっている。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げている。</p>	<p>(1)活動内容が順を追って示されている。教科書に書き込めるページが多く、ワークシートを用意しなくても、授業を展開できる。 (2)活動内容や英文が示されていたり、書き込める部分が多くなっている。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げている。</p>	<p>(1)聞く、話す、活動するなどの内容が順に示されている。毎回同じ手順で授業を進めることができる。 ・絵の情報量が多い。そのため、一度に多くの既習事項に触れることができる。 (2)活動内容が分かりやすく示されている。 ・絵が具体的に分かりやすいので興味をもったところを簡単に調べやすいため、自主学習がしやすい。 (3)世界や日本の様々な場所や人々が取り上げられている。</p>	<p>(1)シールをはる、書き込むなどの多様な活動があり、手順が分かりやすく示されている。切り取り式のワークシートがついている。 ・1ページにその活動で押さえたい内容が簡潔にまとまっている。 ・Lessonの最後に3段階評価をする部分があるので、児童に到達度を示しやすい。 (2)振り返りのページが見やすく、取り組みやすい。 ・巻末のJingleとローマ字表を活用することでアルファベットを覚えながら、単語にも親しむことができる。これは、自主学習でも可能なため配慮がされていると考える。 (3)世界や日本の様々な場所や人々が取り上げられている。</p>	<p>(1)目次に単元全体を見通すことができる構成になっており、評価項目がマークで表示され、明確。1時間の授業を展開しやすいように、聞く、話す、書くなどの活動内容が分かりやすく示されている。 ・到達目標が明確に示されている。 (2)picture dictionaryなど、イラストや写真が多く、文字が見やすい。自分で読んだり調べたり、書き込めたりする部分があり、配慮がされている。 ・実用的であるため、家庭でも学習に還元できる。 ・教科書のうしろに取り外し可能な辞書が付属されているので、それのみを持ち帰って学習することも可能。 (3)世界や日本の様々な場所や人々が取り上げている。</p>	<p>(1)聞く、話す、書く活動が分かりやすく順に示されている。活動内容がイメージしやすいイラストや写真が多く示されている。 ・教科書の構成がはじめに詳しく示されている。授業の組み立ての補助になる。 ・技能マークが示されている部分が、指導の手がかりになっている。 (2)見やすいイラストや、写真が多く、分かりやすい。書き込みのスペースが大きく、児童が取り組みやすく工夫されている。 ・アニメ、音、クイズ、映像などが教材に収められており、児童が自分から進んで楽しんで学べるような特徴がある。 (3)世界や日本の様々な場所や人々が取り上げている。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>・巻末に切り離してそのまま使える教材がついている。 ・児童が書き込めるスペースがたくさんある。</p>	<p>・巻末の資料が充実している。(CandoリストやSugorokuが付いているなど。) ・学年ごと、単元ごとに主要な単語が記載されているワードブックがついている。 ・教科書の紙の材質が鉛筆で書き込んだり消したりしやすい素材である。 ・ワークブックのような造りで、円滑に学習を進めることができる。</p>	<p>・巻末に切り離してそのまま使える教材がついている。 ・見開き1ページ当たりのリスニング問題数が多くなっている、学習したことを理解できているか確認できる。</p>	<p>・巻末の資料が非常に多く、6年生では、1/4ほど資料である。資料部分と教科書部分との紙の材質が分けられており、資料部分は書いたり消したりしやすい材質である。 ・教科書のサイズが小さい。 ・本自体が正方形なので、ページが開いた状態を保ちやすい。</p>	<p>・巻末に切り離してそのまま使える教材がついている。 ・学年ごと、単元ごとに主要な単語が記載されているワードブックがついている。 ・教科書のサイズが小さい。 ・本自体が正方形なので、ページが開いた状態を保ちやすい。</p>	<p>・巻末の資料が非常に多く、5年生では、1/3ほど資料がある。</p>

発行者名 調査の観点	東京書籍	開隆堂	三省堂	教育出版	光村図書	啓林館
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 (2)児童の発達段階に配慮している。多彩なデジタル教材のカラーがどの児童にも視覚的に見やすい。映像や音声のコンテンツバリエーションが豊富で直感的に使える。イラストも現代風でどの児童も親しみやすい。</p>	<p>(1)配慮している。 (2)児童の発達段階に配慮している。デジタルコンテンツの読み上げが機械音声ではなくナレーターの朗読音声で誰もが親しみをもって聞けることができる。</p>	<p>(1)配慮している。 (2)児童の発達段階に配慮している。活動のモデル動画で、やりとりと発表のイメージをつかみやすい。音声に合わせてイラストを強調できる仕組みになっている。絵辞典機能ついた「パノラマ」にはたくさんの語句があり音声を聞くことができる。導入として聞く情報量は豊富である。</p>	<p>(1)配慮している。 (2)児童の発達段階に配慮している。単元の概要を写真動画やアニメーションで表され、どの児童にも理解の助けになる構成になっている。ワンクリックで英文を拡大でき、余分な操作がすくない。</p>	<p>(1)配慮している。 (2)児童の発達段階に配慮している。二次元コード以外にも音声を出すマーカーが多くあり必要なコンテンツに直接アクセスできる。音声や映像の速度を調整できるので発達段階に応じて対応できる。</p>	<p>(1)配慮している。 (2)児童の発達段階に配慮している。速度変更が可能。多彩なコンテンツがあるが、そのコンテンツを「おどろくぼこ」という場所に整理して容易に取り出すことができる。教科書全体に散らばったものを児童が振り返りしやすい。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・実際に他国の子供が話す映像があり、児童が世界の国々に興味関心をもてる工夫がされている。 ・ゴールポイントが会話ややり取りで映像で示されており、子供も教員もゴールをイメージしやすく、ゴールに向かって、主体的に取り組める工夫がされている。 ・なじみのあるイラストや音楽で子どもたちの興味をひく教材となっている。チャンツもテンポがよく、子どもたちが自然に口ずさむようなものとなっている。 (2)配慮している。 Unitの始めのページは、動画に合わせたイラストが順に並び、動画を見た後に、どんな内容だったか振り返りやすい工夫がされている。 ・見開き1ページの中の配置が分かりやすく使いやすいものとなっている。 ・デジタルマップやデジタル辞書があり、児童が自分で定着を確認することができるようになっている。 ・Unitごとに映像や音声で確認でき、スモールステップになっており、発達段階に合っている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・歌やチャンツが明るい雰囲気、児童が主体的にやってみようとする工夫がされている。 ・イラストを活用した音声教材により、なじみをもって児童が取り組めるよう工夫されている。 ・自分で会話の考える際、自分に合った言葉が見つけられるようにword bookの中に関連する言葉が複数あり、自分で言葉を選べる工夫がされているため、すすんで活動に取り組むことができる。 (2)配慮している。 ・イラストを選んで印を付けたり、選んだりできる活動内容のものが多く、発達段階に合わせて取り組みやすい工夫がされている。 ・3・4年生で学習した内容が振り替えられるようになっており、発達段階に合わせて取り組みやすくなっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・各Unit、パートごとに分かれており、授業の流れが示されていることで、児童が主体的に取り組むための工夫がされている。 ・Word Chantでは、聞こえた言葉は何か考える際、子どもたちが主体的に活動できるようにクイズ形式で限られた時間で行うゲームが用意されていて子どもたちが主体的に取り組む工夫がされている。 ・会話の例が音声化されている。 (2)配慮している。 ・Unitごとに学習内容(キーセンテンス)をアニメーションで確認でき、語句や表現をインプットし、「聞く」「話す」へのアウトプットへと移行するステップが発達段階に合わせたものとなっている。 ・Unitごとに単語やセンテンスを確認できるようになっており、発達段階に合わせて定着を確認できるようになっている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・伝える、たずねる活動が多く設定されており、主体的に対話的な学びを深める工夫がされている。 ・グループでの活動や紹介する活動が設定されており、共同的な学びにつながる工夫がされている。 ・他教科と関連する教材や最近の出来事が使われており、児童の興味関心を引く工夫がされている。 ・子どもたちが理解しやすく取り組みやすいアクティビティがイラストや言葉で説明されており、主体的・対話的な深い学びにつながる工夫となっている。 (2)配慮している。 ・イラストを選んで印を付けたり、選んだりできる活動内容のものが多く、発達段階に合わせて取り組みやすい工夫がされている。 ・Unitごとの振り返りは、次の学習内容生かすことができる内容のものとなっている。 ・Unitごとに書く、読む、聞くの練習があり、どの領域も定着を確認し、次の学習へつなげられる工夫がされている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・キャラクターやアニメーションで、自然な会話が視聴でき、対話的な活動へと結びつく工夫がされている。 ・多くの映像教材が用意されており、主体的に学びに向かう工夫がされている。 ・配慮がされている。 ・親しみのあるキャラクターとアニメーションで、視聴後内容について自然と対話が生まれる工夫がある。 (2)配慮している。 ・見開きページで1時間の授業を進めることができるようアニメーションや音声を用意されていて、学習の流れと合わせて児童が教科書を使用でき、ページの迷いがなく学習を行うことができるよう配慮されている。 ・ステップアップがスモールステップになっており、発達段階を十分に配慮されている。</p>	<p>(1)配慮している。 ・実際に他国の子供が話したり、その国について写真を使って紹介したりする映像教材があり、児童の興味を高め、主体的に取り組める工夫がされている。 ・親しみのあるキャラクターとアニメーションで、視聴後内容について自然と対話が生まれる工夫がある。 (2)配慮している。 ・どの領域も、発達段階に応じた内容であり、単語の練習をジグザグにのせて行える工夫がされている。 ・見開きページで1時間の授業を進めることができ、学習の流れと合わせて児童が教科書を使用でき、児童が迷わず学習を行うことができるよう配慮されている。 ・音声・イラスト・文字で表された言葉は、単語をすすんで学べるようにクイズとなっており、興味をもって取り組める工夫がされている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・読みやすい書体で書かれている。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・写真や挿絵のサイズが大きくて見やすい。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・読みやすい書体で書かれている。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・写真や挿絵がたくさん使われており、情報量が豊富である。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・項目が統一されており読みやすい。 ・簡潔に書かれており読みやすい。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・挿絵の色が薄くて見やすい。 ・写真が鮮明で見やすい。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・指示や問いが簡潔で読みやすい。 ・各項目の枠や、その下の関連挿絵の背景の色が統一されており、読みやすい。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・写真や挿絵の色が落ちており見やすい。サイズも良い。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・項目の色づかいがシンプルで読みやすい。 ・文が簡潔に書かれており読みやすい。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・写真や挿絵がシンプル且つやさしい雰囲気で見やすい。</p>	<p>(1)読みやすい表現である。 ・行間にゆとりがあり、文字が読みやすい。 (2)見やすく、分かりやすい。 ・イラストや背景に落ち着いた色が使われており見やすい。 ・イラストがかわいらしくて興味を引く。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)学習の流れが分かりやすく、順を追って学習がステップアップできるようになっている。 (2)写真一つ一つが大きく表示され、見やすい。児童が学習を進められる工夫がされている。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げている。</p>	<p>(1)活動内容が順を追って示されている点が良い。 (2)活動内容や英文が示されているので、見やすく家庭学習に配慮されている。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げている。</p>	<p>(1)操作に慣れるまで時間を要するが、聞く、話す、活動するなどの内容が順に示されている点が良い。 (2)活動内容が分かりやすく示されている。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げられている。</p>	<p>(1)学習の流れ、手順が分かりやすく示されている。イラスト、映像が見やすく、音声も聞きやすい。 (2)振り返りのページが見やすく、取り組みやすい。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げられている。</p>	<p>(1)操作はシンプルで、操作を覚えやすく、単元全体を見通すことができる構成になっている。1時間の授業を展開しやすいように、聞く、話す、書くなどの活動内容がわかりやすく示されている。 (2)イラストや写真が多く、文字が見やすい。映像や音声が見やすく、聞きやすい。自分で読んだり調べたり、書き込めたりする部分があり、配慮がされている。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げている。</p>	<p>(1)聞く、話す、書く活動が分かりやすく順に示されている点が良い。活動内容がイメージしやすいイラストや写真が多く示されている。 (2)見やすいイラストや、写真が多く、分かりやすい。 (3)世界や日本の様々な場所や人々を取り上げている。</p>

令和6年度（2024年度）八王子市立小学校及び義務教育学校（前期課程）使用教科用図書調査研究報告書（資料作成委員会）

種目 道徳 1/1枚目

調査の観点	発行者名	東京書籍	教育出版	光村図書	日本文教出版	光文書院	Gakken
1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。	(1)学習指導要領の内容項目を学習しやすくするため、内容項目の4つの視点について、目次に分かりやすく表示されている。 (2)配慮している ・文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。 ・他の学習や日常生活に広がる教材が掲載されている。	(1)学習指導要領の内容項目を学習しやすくするため、内容項目の4つの視点について、色とマークを使って分かりやすく表示されている。 (2)配慮している ・文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。	(1)学習指導要領の内容項目を「とびら」になぞらえ、児童に分かりやすい言葉とイラストで紹介されている。 (2)配慮している ・文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。 ・イラストや写真が多く、児童の興味や関心ももちやすい印象だった。	(1)学習指導要領の内容項目を学習しやすくするため、内容項目の4つの視点について、目次に色やマークで何を学ぶか、教材ごとに明示されている。 (2)配慮している ・文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。	(1)学習指導要領の内容項目を学習しやすくするため、目次に色とマークを使い、内容項目の4つの視点の何を学ぶのかを分かりやすく表示している。 (2)配慮している ・文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。 ・学習の進め方やまとめ方が詳しく記載されている。	(1)学習指導要領の内容項目を学習しやすくするため、目次に色とマークを使い、内容項目の4つの視点の何を学ぶのかを分かりやすく表示している。 (2)配慮している ・文字の大きさや分量、挿し絵、写真等、各学年に相応しいものを掲載している。 ・世間で活躍した人物などを掲載している。	
2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。	(1)教材文のあとに「つながる・広がる」のページがあり、関連する資料から学びを深めることにつながる。 (2)各学年の配当時間の授業を行うための教材が用意されている。巻末に振り返りを記入する欄があり、長期休業日前にも記入する箇所がある。	(1)教材文のあとに「考えよう・深めよう」のコーナーを設けたり、「やってみよう」で学びを体験的に生かしたりし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた構成になっている。 (2)各学年とも配当時間は35時間(1年は34時間)を想定し、年間を通してゆとりをもって授業展開ができるように配慮している。児童の活動として、セリフを入れる吹き出しや、感想欄、振り返りのページがある。	(1)教材文のあとに「考えよう・話し合おう」のコーナーを設けたり、「考えるヒント」で考え方や、対話の手立てがわかるページを設けたりしている。 (2)各学年の配当時間の授業を行うための教材が用意されている。発達段階を考慮した挿絵を配して、読みの負担を軽減している。巻末に振り返りを記入する「学びの記録」があり、1年生から4年生はシールを活用して振り返りが行えるようになっている。5・6年生は一言感想文が書き込めるようになっている。	(1)教材文のあとに「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」のコーナーを設けており、主体的・対話的に話し合う場面を設けている。また「心のベンチ」として、学習したことを他の教科とつなげて考えを広げられるページを設けている。 (2)各学年の配当時間の授業を行うための教材が用意されている。別冊教科書「道徳ノート」があり、発問に対する自分の考えを記入したり、振り返りを行ったりできるようになっている。自由記述のスペースも設けられている。	(1)「問いをもつ」→「考える」→「まとめる」→「広げる」という学習の流れが分かりやすく示されており、児童が主体的に学習に取り組むことができる。 (2)各学年の配当時間の授業を行うために十分な数の教材を掲載している。巻頭のオリエンテーションが複数ページあり、親しみやすい構成になっている。巻末に「学びの足あと」として、毎時間の振り返りや心の矢印を記入することができるようになっている。	(1)教材文のあとに「心のパスポート」や「深めよう」のコーナーがあるものもあり、役割演技をしたり、日常と関連付けて考えさせたりすることで道徳的価値を深めることができる。 (2)全体の分量・配分は児童の過重な負担を与えないように配慮している。「心のパスポート」や「深めよう」のコーナーで自分の考えを書く欄を設けている。巻末には「つなげよう・広げよう」のページがあり、1年間の振り返りを書くことができる。	
3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。	(1)本文は5行ごとに行番号を配置し、行数を把握しやすくなるよう工夫している。本文にはユニバーサルデザイン書体を採用し、読みやすさと見やすさに配慮している。当該学年の配当の漢字は使用せず、配当学年の一つ下の学年までの配当漢字が使用されている。 (2)ワイドなAB版を採用し、余白や行間にゆとりをもたせ、分かりやすくしている。美しい挿絵や写真を掲載してはいるが、多用な色を控え、全ての児童が支障なく学習できるようカラーユニバーサルデザインに配慮している。	(1)本文は5行ごとに行番号を配置し、行数を把握しやすくなるよう工夫している。2年生7月までの教材を分ち書き、文節改行で表している。その学年で学習する漢字には、その初出箇所、固有名詞については全て振り仮名を付けている。教材の内容理解のために、必要な解説を脚注として加えている。 (2)横広のAB判で、挿絵や写真・図版を大きく掲載している。印刷が鮮明で読みやすい色調である。カラーユニバーサルデザインへの配慮をしている。	(1)本文は5行ごとに行番号を配置し、行数を把握しやすくなるよう工夫している。本文はユニバーサルデザインに配慮したオリジナルの書体を使用している。1、2年生は文節分ち書きで配慮をしている。当該学年の配当漢字全てに振り仮名があり、読みの負担軽減のための配慮をしている。 (2)カラーユニバーサルデザインに配慮し、文字の大きさや配置、写真や絵の色使いや配置、枠組みを使ったデザイン処理など、色覚特性をもつ児童に配慮してある。教材内容の理解を助けイメージを豊かに広げる挿絵、写真、表、グラフである。	(1)漢字は当該学年の配当漢字までが使用され、当該学年以上の漢字やキーワード、固有名詞等の漢字には全てにふりがながついている。脚注欄では、難解な語句の解説や補足説明がされている。児童の発達の段階に応じて、文字の大きさ、書体や行間に配慮している。ユニバーサルフォントを使用し、活字は大きく、見やすい書体となっている。 (2)図、挿絵は本文との関係性を配慮して表現しており、カラーユニバーサルに対応し、見やすく、分かりやすく工夫している。AB判を使用し、教材は全て見開き単位で構成されているなど、見やすく、集中しやすい仕様になっている。	(1)ユニバーサルデザインフォントを使用している。3年生以下は全ての漢字に振り仮名がある。4年生以上は当該学年の配当漢字からふりがなを付けている。2年生までは分ち書き、文節で改行を行うなど読みやすくなるための配慮をしている。脚注の説明がある。 (2)AB判を採用することにより、紙面が見やすく、写真やイラストが引き立つように工夫している。カラーユニバーサルデザインへの配慮をしている。	(1)本文は5行ごとに行番号を配置し、行数を把握しやすくなるよう工夫している。本文はユニバーサルデザインフォントを使用している。内容項目を視点ごとに色分けしたり、ひと目で取り組み方がわかるマークなどを使用したりするなど、視覚的に分かりやすくなっている。 (2)横広のAB判の紙面を採用し、写真やイラスト、漫画などが見やすくなっている。	
4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。	(1)指導者の使いやすさ ・教材の発問が「中心発問」と「自己を見つめる発問」の2つに絞られており、学級の実態に応じて自由に発問を付け足し、柔軟に活用することができる。 ・全教材に付いた二次元コードから、朗読音声やスライドショー(紙芝居)、ワークシート等を利用することで、児童や学級の実態に応じて教材の提示方法を選択することができる。 ・4年生以降は「心情円」が付録として用意されている。また、心情メーター等の様々な思考ツールが紹介されている。 (2)家庭学習への配慮 ・人物への関心を高めたり、教材の理解を深めたりする動画資料が多数用意されている。 (3)地域性への配慮 ・地域の良さを守る、伝統や文化を大切にする等の教材がある。	(1)指導者の使いやすさ ・教材名の下に「導入の発問」があり、ねらいとする道徳的価値や教材内容への導入が図りやすい。 ・「学びのテーマ」が示されており、自分や日常生活に結び付けたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりする発問が用意されており、授業展開を構成しやすい。 ・二次元コードから「まなびリンク」教材解説を活用できる。 (2)家庭学習への配慮 ・「まなびリンク」を活用して関連資料を見られることで、学習後の家庭学習で主体性を養うことができる。 (3)地域性への配慮 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心を育む教材がある。	(1)指導者の使いやすさ ・3年生以上の第二教材では、「道徳の学び方」を示し、学習の目標・流れが捉えやすい。 ・「学びのテーマ」が示されており、自分や日常生活に結び付けたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりする発問が用意されており、授業展開を構成しやすい。 ・二次元コードから資料によって朗読や資料等を活用できる。 (2)家庭学習への配慮 ・情報モラルを扱ったコラムにおいては、「家庭との連携マーク」が付いており、家庭と一体となった指導や家庭での話し合いにつなげることができる。 (3)地域性への配慮 ・第3学年以上の巻末付録には、日本各地の伝統文化や地域で取り組まれている防災活動が紹介されており、自らの暮らす地域のよさを探究しようとする自主的な学びのきっかけとして有効に活用できる。	(1)指導者の使いやすさ ・導入から展開後段まで、児童の思考の流れに沿った発問が設定され、自発的な思考を引き出す配慮がされている。 ・「道徳ノート」や自由に活用できるデジタルコンテンツが充実しており、児童が主体的に取り組むやすくなっている。 ・二次元コードから朗読、映像、ワークシート等を活用できる。 (2)家庭学習への配慮 ・「道徳ノート」や自由に活用できるデジタルコンテンツが充実しており、児童が主体的に取り組むやすくなっている。 ・「道徳ノート」には「おうちの人から」欄が用意されており、家庭での話し合いに活用しやすい。 (3)地域性への配慮 ・全国各地の魅力的な素材が教材化されており、児童が興味をもって学習に取り組むことが期待できる。	(1)指導者の使いやすさ ・考えられる主な発問例が複数記載されており、授業の見通しがもちやすくなっている。 ・「学びの足あと」を活用して継続して記していくことで、自らの成長を実感し、新たな課題や目標を見つけて学習に取り組めるようになっている。 ・二次元コードから動画資料等を活用できる。 (2)家庭学習への配慮 ・教材には、家庭での出来事や地域との交流を描いたものなど、家庭や地域との連携が取りやすい題材が取り入れられており、学習したことが実生活へつながるように配慮されている。 (3)地域性への配慮 ・地域の実態に応じて使える多様な地域教材が用意されている	(1)指導者の使いやすさ ・全学年にねらいとする道徳的価値を深めるための「心のパスポート」というページが用意されている。 ・高学年にSNSをストレートに扱った教材が入っており、情報モラルの指導がしやすい。 ・二次元コードから動画資料等を活用できる。 (2)家庭学習への配慮 ・家庭生活や地域社会に関わりのある教材を多数取り入れている。 (3)地域性への配慮 ・日本の各地域に関連した教材を多数取り入れている。	
5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。	・いじめ問題について、とびらページ、直接的教材(自分はどうするか)と間接的教材、「つながる・広がる」のいじめユニット教材になっている。いじめの四層構造、助けを求める方法、「いじめ防止対策推進法」等を示している。挿絵から問題を想起できるように工夫されている。	・いじめ問題については、全学年「いじめ」「情報モラル」「生命等」のユニット教材として扱い、力を入れている。いじめは各学年2つの教材と関連教材(コラム)がある。現在いじめの起因になりやすい「SNS」問題や、第三者の立場からも考えられるような教材等がある。	・いじめ問題について、複数時間かけて考えられるユニットがある。いじめそのもの、自分を大切に、自他の命と向き合うことから、いじめを意識するようにしている。コラムで教材学習の後、友達とよりよい関係を築くための方法を示している。「人権や多様性」の重視をした内容を扱い、差別を生まない心を育むよう工夫されている。	・人権問題を中心に取り入れている。年3回のいじめ防止ユニット(間接教材、直接教材、人とのかわり)がある。いじめ防止に向け、法律が設定されていることを児童が理解できるように工夫している。別冊教科書「道徳ノート」で友達の考えをメモしたり、問いに対する考えを書いたりできる配慮がある。	・いじめ、命、学年独自主題を重点主題としている。扉ページ、教材2題の構成となっている。いじめを生まないための心の育成を図るとともに、人間関係づくりの大切さや、生命尊重を考えられるようにしている。重宝の足跡(評価・振り返り)を取り入れている。	・いじめ問題について、直接的に扱った教材(ちくちく言葉)等と間接的に扱った教材(読み物資料)を扱っている。さまざまな「命」の視点から生命を考えさせる読み物資料があり、いじめを生まない心の育成に役立っている。「SNS」の活用を考えるなど「心のパスポート」で視野を広げている。	